

## 令和 5 年度みえ森と緑の県民税基金事業の事前評価結果

1. 評価の方法	1
2. 事前評価における評価別事業数	1
3. 事前評価の集計結果	
(1) 事業別	2
(2) 市町交付金（基本枠、加算枠）事業 対策区分別	3
(3) 市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別	11
四日市市	11
桑名市	13
鈴鹿市	15
亀山市	17
いなべ市	19
木曾岬町	21
東員町	23
菰野町	25
朝日町	27
川越町	29
津市	31
松阪市	33
多気町	35
明和町	37
大台町	39
伊勢市	41
鳥羽市	43
志摩市	45
玉城町	47
度会町	49
大紀町	51
南伊勢町	53
名張市	55
伊賀市	57
尾鷲市	59
紀北町	61
熊野市	63
御浜町	65
紀宝町	67

## 1. 評価の方法

評価委員の評価と内容

内 容	評価
取組が特に優れている	4
取組が妥当である	3
取組は妥当であるが さらに工夫が必要である	2
現状の取組に 改善が必要である	1

評価委員会の評価と内容

平均値による 評価基準		内 容
$3.5 \leq X \leq 4.0$	A	取組が特に優れている
$2.9 \leq X < 3.5$	B	取組が妥当である
$1.9 \leq X < 2.9$	C	取組は妥当であるが さらに工夫が必要である
$1.0 \leq X < 1.9$	D	現状の取組に改善が必要である

- 10名の委員を3班に分け、班ごとに分担した事業について、各委員が「有効性」「効率性」「公益性」「情報発信度」の各視点で評価（左表）を行い、各委員の評価（点数）を合計し、平均値をとります。  
※みえ森と緑の県民税基金積立金事業、みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業、みえ森と緑の県民税制度運営事業については、10名の委員全員が評価を行い、その平均値をとります。
- 算出された平均値に基づき、右表により、評価（A～D）を決定します。

## 2. 事前評価における評価別事業数

評価	評価点 (点)	事業数（事業）			
		有効性	効率性	公益性	情報発信度
A	4.0	0 (1)			3 (2)
	3.9				
	3.8	5 (3)	1 (1)	5 (0)	3 (1)
	3.7	3 (19)	0 (31)	3 (39)	3 (17)
	3.6				
	3.5	9 (20)	7 (1)	13 (4)	7 (2)
	<b>A評価計</b>	<b>17 (43)</b>	<b>8 (33)</b>	<b>21 (43)</b>	<b>16 (22)</b>
B	3.4	0 (1)		1 (3)	
	3.3	47 (65)	44 (48)	63 (56)	19 (50)
	3.2	1 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (3)
	3.1		1 (0)	1 (0)	
	3.0	78 (20)	60 (43)	55 (25)	54 (36)
	2.9				2 (0)
<b>B評価計</b>	<b>126 (87)</b>	<b>106 (92)</b>	<b>121 (84)</b>	<b>75 (89)</b>	
C	2.8	1 (0)	7 (2)		5 (2)
	2.7	2 (5)	24 (8)	4 (7)	41 (17)
	2.6				
	2.5		2 (0)		5 (0)
	2.4				
	2.3	1(0)		1 (1)	5 (4)
	2.2				
	2.1				
	2.0				0 (1)
<b>C評価計</b>	<b>4 (5)</b>	<b>33 (10)</b>	<b>5 (8)</b>	<b>56 (24)</b>	
<b>事業数計</b>	<b>147 (135)</b>	<b>147 (135)</b>	<b>147 (135)</b>	<b>147 (135)</b>	

※（ ）内は、令和4年度事業の評価別事業数

### <参考> 班別平均点

班	有効性	効率性	公益性	情報発信度
A	3.3	3.2	3.4	3.2
B	3.1	3.0	3.1	2.9
C	3.2	3.0	3.1	2.9

### 3. 事前評価の集計結果

#### (1) 事業別

事業名		有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	みえ森と緑の県民税基金積立金事業	3.3	B	3.2	B	3.4	B	2.9	B
2-ア	災害緩衝林整備事業	3.5	A↑	3.3	B↓	3.5	A	3.5	A
2-イ	土砂・流木緊急除去事業	3.5	A	3.3	B	3.5	A	3.5	A
3	森林情報基盤整備事業	3.5	A	3.5	A	3.5	A	3.3	B↓
4-ア	みえ森林教育ビジョン推進事業	3.3	B↓	3.0	B	3.3	B↓	3.0	B
4-イ	みえ森づくりサポートセンター運営事業	3.7	A	3.0	B	3.3	B↓	3.3	B
4-ウ	みえ森林教育ステーション整備事業	3.3	B↓	3.3	B	3.0	B	2.7	C↓
5	生物多様性推進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
6	森林とふれあう自然公園環境整備事業	3.0	B	3.0	B↑	3.3	B↑	3.0	B
7-ア-a	流域防災機能強化対策事業	3.5	A	3.5	A	3.5	A	3.5	A
7-ア-b	森林再生力強化対策事業	3.0	B	3.3	B↓	3.5	A	3.5	A
7-イ-a	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C↓
7-ウ	みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業	3.0	B	3.0	B	3.2	B	3.0	B
8	みえ森と緑の県民税制度運営事業	3.2	B	3.1	B	3.1	B	2.9	B

※↑は、昨年度から評価が上がった事業を、↓は、昨年度から評価が下がった事業を示しています。

(2) 市町交付金（基本枠、加算枠）事業 対策区分別

対策区分1：土砂や流木による被害を出さない森林づくり ※3市町3事業									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
津市	津市林地残材搬出促進事業	3.0	B	2.8	C	3.0	B	2.8	C
大紀町	溪流倒木等処理事業	3.8	A	3.3	B	3.8	A	3.5	A
紀北町	河川周辺森林立枯木整備事業	3.3	B	3.5	A	3.5	A	3.0	B

対策区分2：暮らしに身近な森林づくり ※25市町47事業									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
四日市市	都市公園危険木処理事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
四日市市	危険木等除去支援事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
四日市市	里山・竹林環境保全支援事業	3.3	B	2.7	C	3.3	B	2.7	C
四日市市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C
鈴鹿市	暮らしを守る森林保全事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
鈴鹿市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.3	B
亀山市	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
いなべ市	危険木の除去事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.7	C
いなべ市	里山竹林環境保全支援事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
いなべ市	鳥獣害につよい森林整備事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
東員町	危険木伐倒等業務	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
菰野町	病虫害被害木伐採搬出事業	3.0	B	3.3	B	3.0	B	2.7	C
菰野町	危険樹木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C

対策区分2：暮らしに身近な森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
朝日町	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.3	B
津市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.0	B	2.8	C	3.3	B	3.3	B
松阪市	里山の森林安全安心対策事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
松阪市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
多気町	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
明和町	松林整備事業	3.0	B	2.7	C	3.3	B	2.7	C
明和町	危険木除去事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
大台町	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	2.7	C	3.3	B	3.7	A
大台町	集落周辺等危険木伐採事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
伊勢市	森林整備事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
伊勢市	危険木除去事業	3.3	B	2.8	C	3.3	B	3.0	B
鳥羽市	危険木伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
鳥羽市	危険木伐採事業費補助金事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
鳥羽市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	2.8	C	3.3	B	2.8	C
志摩市	災害に強い森林づくり事業	3.3	B	2.5	C	3.3	B	3.3	B
志摩市	松くい虫防除事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	2.8	C
度会町	危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.5	A	4.0	A
度会町	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.5	A	4.0	A
大紀町	生活環境林整備事業	3.5	A	3.0	B	3.3	B	3.5	A

対策区分2：暮らしに身近な森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
大紀町	水道水源林町有林化事業	3.8	A	3.3	B	3.5	A	3.8	A
南伊勢町	危険木除去事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.8	C
名張市	危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
名張市	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B
名張市	人家裏危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
名張市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
伊賀市	みんなの里山整備活動推進事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
伊賀市	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
尾鷲市	人家裏危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.5	C
紀北町	危険木伐採事業	3.0	B	3.3	B	3.5	A	3.0	B
紀北町	集落周辺森林（里山）整備事業	3.8	A	3.8	A	3.8	A	3.0	B
熊野市	小・中学校危険木伐採・枝切事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.7	C
御浜町	学校危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
御浜町	町道危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.7	C
紀宝町	生活環境林整備事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	2.3	C

対策区分3：森を育む人づくり ※20市町31事業									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
鈴鹿市	緑に親しむ記念樹配付事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
鈴鹿市	森と緑の生涯学習講座	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B

対策区分3：森を育む人づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
鈴鹿市	里山保全ボランティア育成事業	3.0	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
亀山市	森と木材のふれあい事業（森の講座）	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
亀山市	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	3.0	B	2.7	C	3.3	B	3.0	B
いなべ市	中学校卒業記念品配布事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
いなべ市	森林環境教育支援事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
木曽岬町	森林環境教育事業	3.3	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
東員町	森林教育授業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
朝日町	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.7	A
川越町	川越中学校自然教室	3.3	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
川越町	川越北小学校自然教室	3.0	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
川越町	川越南小学校自然教室	3.0	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
津市	津市森林環境教育事業	3.3	B	3.5	A	3.0	B	3.0	B
津市	美里水源の森「林業体験」事業	3.5	A	3.3	B	3.0	B	3.0	B
松阪市	森林環境学習事業	3.3	B	3.0	B	2.7	C	2.7	C
松阪市	松阪の木魅力発信活動事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
多気町	木とふれあう教育支援事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
大台町	森林環境教育事業	3.7	A	3.0	B	3.3	B	3.7	A
志摩市	森と緑ふれあい事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.5	A
玉城町	森林環境教育・木育事業	3.8	A	3.3	B	3.8	A	3.0	B

対策区分3：森を育む人づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
度会町	森林環境教育推進事業	3.5	A	3.5	A	3.8	A	4.0	A
南伊勢町	森林環境教育事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.5	C
名張市	森林環境教育推進事業	3.3	B	2.7	C	3.3	B	3.3	B
伊賀市	木づかい木育推進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
伊賀市	伊賀の森っこ育成推進事業	3.7	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
伊賀市	地域の森と緑のつながり支援事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C
伊賀市	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
尾鷲市	尾鷲ヒノキを活用した保育園児等への山育事業	3.8	A	3.5	A	3.8	A	3.8	A
紀北町	森林環境教育活動支援事業	3.3	B	3.3	B	3.5	A	3.3	B
紀宝町	森と緑の環境教育事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.3	C

対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり ※21市町36事業									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
四日市市	市民活動センター運営事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
四日市市	一般備品整備事業(小学校)	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
四日市市	一般備品整備事業(中学校)	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
鈴鹿市	公立保育所及び公立幼稚園棚等設置及び木育推進事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
鈴鹿市	子育て支援センター（りんりん）木製玩具及び木製備品設置事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
鈴鹿市	児童センター等木製品設置及び森林環境教育推進事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
亀山市	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（総合保健福祉センターあいあい）	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C



対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
亀山市	森林環境教育・木育が行える場の整備事業 (亀山幼稚園、井田川幼稚園、みずほ台幼稚園)	3.0	B	2.7	C	3.3	B	3.0	B
亀山市	森林環境教育・木育が行える場の整備事業 (森林公園やまびこ)	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
亀山市	森と木材のふれあい事業(木とふれあう)	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
東員町	公共施設等の備品等購入	3.0	B	3.3	B	2.7	C	2.7	C
菰野町	幼児期から木に親しむ木育推進事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C
菰野町	保育所等木製遊具購入補助事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C
朝日町	森と緑とふれあう環境づくり事業 (幼保一体化施設)	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
川越町	川越北小学校図書室棚購入	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
川越町	川越町ボランティア施設(仮称)建設工事	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
津市	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
津市	コミュニティ施設における木育環境整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.5	C
松阪市	保育園木育推進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
多気町	木とふれあう環境づくり事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
明和町	学校木製備品導入事業	3.3	B	3.0	B	2.7	C	2.7	C
明和町	木製ブース設置事業	2.7	C	2.7	C	2.3	C	2.3	C
伊勢市	絆の森ウッドデッキ整備事業	3.0	B	2.8	C	3.0	B	3.0	B
志摩市	阿児ふるさと公園東屋設置事業	2.8	C	2.5	C	3.0	B	3.3	B
玉城町	公共施設整備事業	3.0	B	3.0	B	3.5	A	2.5	C
玉城町	公共施設用備品整備事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B

対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
度会町	県産材を活用した木製備品整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.8	A
南伊勢町	保育園木製備品購入事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.5	C
名張市	学校林整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
名張市	屋外体育施設における木製ベンチ等設置事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
伊賀市	幼児教育・保育施設木製遊具整備事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C
尾鷲市	木とふれあう学校環境づくり事業	3.5	A	3.5	A	3.5	A	3.3	B
尾鷲市	木とふれあう学校環境づくり事業 (尾鷲中学校学習机・椅子整備)	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
尾鷲市	木とふれあう学校環境づくり事業 (矢浜小学校学習机・椅子整備)	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
紀北町	町内学校等木質化事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.8	C
紀宝町	三重の木ベンチ設置事業	2.7	C	2.7	C	3.0	B	2.3	C

対策区分5：地域の身近な水や緑の環境づくり ※12市町16事業									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
桑名市	播磨2号緑地里山整備事業	3.3	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
桑名市	多度山ハイキングコース安全性・快適性向上事業	3.3	B	3.0	B	3.7	A	3.0	B
鈴鹿市	ふるさとの木(名木古木)保存活用事業補助事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B
鈴鹿市	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
いなべ市	自然環境保全事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	3.3	B
木曾岬町	暮らしを守る緑保全事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C
菰野町	シデコブシ群生地周辺林地整備	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C

対策区分5：地域の身近な水や緑の環境づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
朝日町	教育文化施設ビオトープ再生整備事業	2.3	C	2.7	C	2.7	C	2.7	C
松阪市	都市公園整備事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
明和町	木造施設設置事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.3	C
名張市	森林公園等環境活用整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
名張市	桜並木保全管理事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
尾鷲市	中村山公園整備事業	3.0	B	2.8	C	3.3	B	3.0	B
尾鷲市	矢浜公園ほか立木伐採・処分及び森林教育事業	3.0	B	2.8	C	3.3	B	3.0	B
熊野市	森とふれあいの場拠点づくり事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C
御浜町	森林公園等環境整備事業	3.0	B	2.7	C	3.3	B	2.7	C

### (3) 市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別

第11号様式（その1）（評価委員会資料）

#### 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

##### 1. 基礎情報「令和5年度版三重県市町要覧」「令和4年度版森林・林業統計書」による

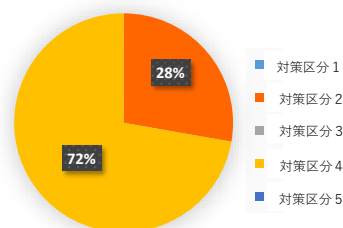
市町名	四日市市	三重県
人口（人）	302,460	1,731,863
年少人口割合（%）*1	11.9%	11.6%
森林面積(ha)	2,805.64	372,030.08
民有林面積(ha)*2	2,497.56	348,561.87
森林率(%)	14.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	10.3	10.6

\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



##### 2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	都市公園危険木処理事業	4,988,500	4,988,500		4,988,500				
2	2	危険木等除去支援事業	44,000	33,000		33,000				
3	2	里山・竹林環境保全支援事業	1,005,939	711,000		711,000				
4	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	10,717,300	2,679,325		2,679,325				
5	4	市民活動センター運営事業	4,950,000	4,950,000				4,950,000		
6	4	一般備品整備事業(小学校)	8,933,760	8,933,760				8,933,760		
7	4	一般備品整備事業(中学校)	8,003,160	8,003,160				8,003,160		
計			38,642,659	30,298,745	0	8,411,825	0	21,886,920	0	0

##### 3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	153本	10,717,300	2,679,325	

##### 4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>本市は、東側に伊勢湾、西側に鈴鹿山脈に接し伊勢湾沿いには石油化学工業等の発達した中核都市です。四日市市総合計画の基本構想で「環境・防災先進都市」を将来都市像の一つに位置付けており、公害の歴史と教訓から、豊かな環境を基本とした都市整備と、防災力強化を両軸に、快適性と安全・安心が高い水準で保たれたまちづくりを目指しています。</p> <p>みえ森と緑の県民税市町交付金を活用することにより、都市公園や地域の里山や竹林を整備し、緑にふれあう環境を整えるとともに、公共施設等での県産材の利用を進めることにより、森への関心、木材利用の意義への理解を深め、緑を身近に感じ大切にしていける社会づくりを推進します。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>森林整備を行ったことにより、地域住民の生活の安全性が確保されたとともに、整備された場所は子供の遊び場としても利用され、子供が森林にふれあう場を作ることができた。</p> <p>また、木製備品を導入したことにより、施設利用者に森林や木材について学び、ふれあう場を提供することができた。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>みえ森と緑の県民税を活用した事業であることの周知を図るためHPの掲載や、導入した木製備品へのロゴマークの焼き印などをつけた。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・一般備品整備事業において小学校の児童や中学校の生徒から全く同様の感想が報告されています。どのように聞き取り調査をされたのか、また児童や生徒から出された率直な声をお聴きしたいと感じました。</p>	

6. 事業別評価表

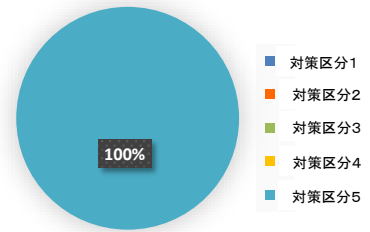
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	都市公園危険木処理事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
2	2	危険木等除去支援事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
3	2	里山・竹林環境保全支援事業	3.3	B	2.7	C	3.3	B	2.7	C
4	2	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C
5	4	市民活動センター運営事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
6	4	一般備品整備事業(小学校)	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
7	4	一般備品整備事業(中学校)	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「令和5年度版三重県市町要覧」「令和4年度版森林・林業統計書」による

市町名	桑名市	三重県
人口（人）	136,322	1,731,863
年少人口割合（％）＊1	12.4%	11.6%
森林面積(ha)	2,960.03	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	2,871.36	348,561.87
森林率(%)	22.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.4	10.6

対策区別別事業費割合



\* 1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

\* 3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	5	播磨2号緑地里山整備事業	534,000	534,000	0	0	0	0	534,000	0
2	5	多度山ハイキングコース 安全性・快適性向上事業	10,450,000	10,450,000	0	0	0	0	10,450,000	0
計			10,984,000	10,984,000	0	0	0	0	10,984,000	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>桑名市北部に位置する多度山は、古くから地域住民や観光客が気軽に訪れることができる身近な山として親しまれてきたが、遊歩道や見晴台の整備等が充分に行えていない状況にある。来訪者に森林への関心を持っていただくためにも、県民税の活用による環境整備を推進し、より多度山の魅力を感じていただき、県民全体で森林を支える社会づくりを推進する。</p> <p>また、前年度に引き続き、播磨2号緑地の里山整備も実施し、2つの事業について、県民税がどのように県民の暮らしに役立てられているかを広報等によって周知する。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>事業実施により、地域住民や公園利用者、児童、生徒に森林を身近に感じていただくことで、森林の持つ機能や、森林整備の必要性についての理解を深めてもらう。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>みえ森と緑の県民税の活用方法について広報誌とホームページにより周知を実施し、「災害に強い森林づくり」や「県民全体で森林を支える社会づくり」については、パネル展示を実施。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・桑名市は2事業とも本税の趣旨にかなう良い取組をされていると思いました。</li> <li>・播磨2号緑地里山整備事業においてホタルの幼虫を放流されています。餌となるカワニナの生息や役割、生態系についてもイベント時に参加者への周知を図っていただきたい。</li> </ul>	

6. 事業別評価表

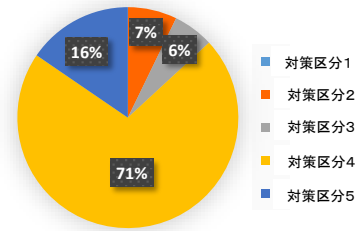
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	5	播磨2号緑地里山整備事業	3.3	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
2	5	多度山ハイキングコース 安全性・快適性向上事業	3.3	B	3.0	B	3.7	A	3.0	B

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「令和5年度版三重県市町要覧」「令和4年度版森林・林業統計書」による

市町名	鈴鹿市	三重県
人口（人）	192,354	1,731,863
年少人口割合（%）*1	11.4%	11.6%
森林面積(ha)	3,596.55	372,030.08
民有林面積(ha)*2	3,420.75	348,561.87
森林率(%)	18.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	10.6	10.6

対策区別事業費割合



- \*1：全人口に占める15歳未満の人の割合
- \*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）
- \*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	暮らしを守る森林保全事業	965,034	965,034		965,034				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,589,300	897,325		897,325				
3	3	緑に親しむ記念樹配布事業	514,250	440,000			440,000			
4	3	森と緑の生涯学習講座	725,592	725,592			725,592			
5	3	里山保全ボランティア育成事業	369,845	369,845			369,845			
6	4	公立保育所及び公立幼稚園園舎等設置及び木育推進事業	9,185,000	9,185,000				9,185,000		
7	4	子育て支援センター（りんりん）木製玩具及び木製備品設置事業	6,284,040	6,284,040				6,284,040		
8	4	児童センター等木製品設置及び森林環境教育推進事業	3,008,325	3,008,325				3,008,325		
9	5	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	2,680,000	2,680,000					2,680,000	
10	5	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト	1,320,000	1,320,000					1,320,000	
計			28,641,386	25,875,161	0	1,862,359	1,535,437	18,477,365	4,000,000	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	43本	3,589,300	897,325	台風などの倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>本市は、東に伊勢湾、西に鈴鹿山脈があり、市の中央には鈴鹿川が流れる、豊かな自然環境の下で発展してきた都市です。この恵まれた自然環境は、市民生活や経済活動に多大な恩恵をもたらしており、美しい風景や豊かな生態系は、本市にとって貴重な財産であるともいえます。</p> <p>このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、市民に親しまれている海岸線の保全や、利用頻度の高い公共施設等への県産材利用を通じ、多くの市民が森林の恩恵を享受することができ、森や緑の大切さを学ぶ機会を設け、県民全体で森林を支える社会づくりを推進する事業を進めていきます。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>子どもを中心とした市民を対象に、森林について学ぶ場や緑や木にふれあう機会を提供することにより、森や緑の大切さや森林環境への理解を深めることができ、森林づくりに積極的に関わる人材の増加が期待できる。地域にある身近な緑や里山を大切にすることは、自然環境とふれあう場の確保に繋がり、自然と共生する意識がうまれる。</p> <p>また、人家周辺の森林や樹木を適切に管理することで、市民の暮らしの安心・安全を確保することができる。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>市広報にて本市におけるみえ森と緑の県民税の活用状況について周知を図った。</p> <p>また、事業実施の際は、県民税のぼりやロゴマークを掲出するなどして、みえ森と緑の県民税活用事業であることの周知に努め、啓発物品を配布することでみえ森と緑の県民税制度の理解を深めてもらえるよう取り組んだ。</p> <p>県民税の県内での活用事例紹介や森林のもつ多様性についての展示を市民ギャラリーにて実施し、来庁者への情報発信を行った。</p>



5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・緑に親しむ記念樹配付事業において配布された苗木はいずれ鉢から出して植えなおす必要があります。（数年後に）植樹できる公的な場所の提供も提案しておくとも木を大切に育てる心も一緒に育まれるのではないのでしょうか。また、アンケート結果を踏まえ積極的に事業を推進していただきたい。</p>	

6. 事業別評価表

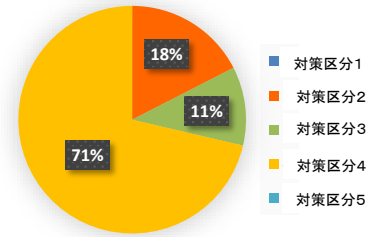
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	暮らしを守る森林保全事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.3	B
3	3	緑に親しむ記念樹配布事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
4	3	森と緑の生涯学習講座	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
5	3	里山保全ボランティア育成事業	3.0	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
6	4	公立保育所及び公立幼稚園棚等設置及び木育推進事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
7	4	子育て支援センター（りんりん）木製玩具及び木製備品設置事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
8	4	児童センター等木製品設置及び森林環境教育推進事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
9	5	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B
10	5	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「令和5年度版三重県市町要覧」「令和4年度版森林・林業統計書」による

市町名	亀山市	三重県
人口(人)	49,553	1,731,863
年少人口割合(%) * 1	12.4%	11.6%
森林面積(ha)	12,012.75	372,030.08
民有林面積(ha) * 2	11,659.13	348,561.87
森林率(%)	63.0%	64.0%
都市公園面積(m <sup>2</sup> /人口) * 3	13.4	10.6

対策区別事業費割合



\* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)(当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	集落周辺の森林整備事業(危険木等伐採)	2,192,190	2,000,000		2,000,000				
2	3	森と木材のふれあい事業(森の講座)	756,470	281,000			281,000			
3	3	森と木材のふれあい事業(森林づくり協議会)	1,000,000	1,000,000			1,000,000			
4	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業(総合保健福祉センターあいあい)	3,205,400	3,000,000				3,000,000		
5	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業(亀山幼稚園、井田川幼稚園、みずほ台幼稚園)	2,970,000	2,700,000				2,700,000		
6	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業(森林公園やまびこ)	509,608	500,000				500,000		
7	4	森と木材のふれあい事業(木とふれあう)	1,992,100	1,968,000				1,968,000		
計			12,625,768	11,449,000	0	2,000,000	1,281,000	8,168,000	0	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>本市は、北勢地域随一の林業地帯として古くからスギ・ヒノキを主とした人工林の整備が進められ、良質な木材の生産・供給が行われてきました。しかし、林業を取り巻く情勢は厳しく、採算性の悪化、高齢化等による担い手不足のため、放置される森林が増加したことで森林の機能低下が進んでいます。このため、既存の財源を活用し、林業生産活動の支援や地域材を活用した商品を「亀山ブランド」として認定することで森林整備や地域材の利用促進に取り組んでいます。今後も、森林の有する様々な働きを発揮させるための森林整備や地域材の利用を促進するためには、市民の森林に対する理解と関心を深めることが大切です。このことから、県民税を活用し、森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることや、暮らしに身近な森林を整備を進め、地域の生活環境の向上を図ります。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>様々な事業に取り組む、森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることで市民の森林に対する理解と関心が深まるとともに、地域の危険木やライフラインが寸断される恐れのある樹木を伐採することで市民の暮らしの安全・安心に大きく寄与できる。協議会がコロナ禍の中、工夫を凝らしイベントを開催することで幅広い年代の市民に森林とふれあう場を提供できる。更に、保育園・認定こども園で木育教室を開催することで園児たちに木材にふれる機会が作れ、豊かな心が育まれる。森林公園やまびこの施設整備等を行うことで、子どもから大人まで安全・安心して施設を利用することができることと、森林や木にふれあう場や緑に親しむ環境を提供できる。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業実施時に看板やのぼり旗の掲示</li> <li>・ 事業実施時にパンフレットや啓発物品を配付し県民税の説明を行う</li> <li>・ 啓発物品を活用し、園児だけでなく保護者にも周知を図る</li> <li>・ イベント時に県民税ロゴマークを表示したスタッフベストを着用し活動</li> <li>・ 導入木製品に県民税ロゴマークの焼印やシールを添付し、事業終了後も市民の目に触れ県民税を周知できるようにする</li> </ul>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に経費内訳が一式で示されることが多く、評価に支障があります。No.6、No.7の事業を参考に単価の表示をお願いします。</li> <li>・市の広報媒体を活用して参加者の声や実施報告を積極的に発信されてはいかがでしょうか。</li> <li>・経費の内訳が分かりづらい事業がいくつかあります。ある程度の詳細が分かるように報告していただくと透明性が増すと感じます。</li> </ul>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	3	森と木材のふれあい事業（森の講座）	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
3	3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	3.0	B	2.7	C	3.3	B	3.0	B
4	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（総合保健福祉センターあいあい）	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
5	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（亀山幼稚園、井田川幼稚園、みずほ台幼稚園）	3.0	B	2.7	C	3.3	B	3.0	B
6	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
7	4	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「令和5年度版三重県市町要覧」「令和4年度版森林・林業統計書」による

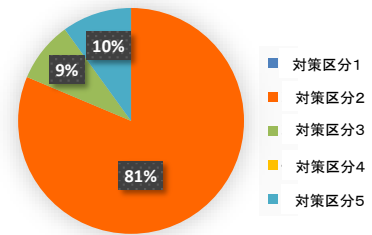
市町名	いなべ市	三重県
人口(人)	44,241	1,731,863
年少人口割合(%) * 1	12.1%	11.6%
森林面積(ha)	12,794.45	372,030.08
民有林面積(ha) * 2	11,724.89	348,561.87
森林率(%)	58.0%	64.0%
都市公園面積(m <sup>2</sup> /人口) * 3	8.2	10.6

\* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木の除去事業	2,547,196	2,547,196		2,547,196				
2	2	里山竹林環境保全支援事業	3,909,930	3,909,930		3,909,930				
3	2	鳥獣害について森林整備事業	2,649,490	2,649,490		2,649,490				
4	3	中学校卒業記念品配布事業	914,650	914,650			914,650			
5	3	森林環境教育支援事業	57,000	57,000			57,000			
6	5	自然環境保全事業	2,530,000	1,115,734					1,115,734	
計			12,608,266	11,194,000	0	9,106,616	971,650	0	1,115,734	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>いなべ市は北部と西部を岐阜県と滋賀県に接し、東部と南部は桑名及び四日市圏域に接している。市域は、北に養老山地、西に鈴鹿山脈をいだき、市のほぼ中央に流れる員弁川を挟んで緑豊かな自然と平野に囲まれている。</p> <p>緑豊かないなべ市でみえ森と緑の県民税市町交付金を活用して、木のぬくもりに触れる機会を作り、身近な森林について目を向けてもらい、森林・木材の意義、大切さを再認識してもらう。また豊富な森林資源を活用し、自然と調和した環境づくりを目指し、整備が進んでいない森林を整備することにより、安心・安全な暮らしを確保する。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>間伐材を活用した箸の配布を行うことで、森林資源の活用と日常的に木に触れる機会を作り出すことができ、将来的に持続可能な素材を選べる人づくりに繋がること期待される。また、住民自らが危険木除去を行うことで、身近な危険木の認識とその除去についての意識向上につながった。里山竹林環境保全支援事業では補助金を交付することで、活動範囲の拡大・活動内容の向上を図ることができ、市内の里山整備促進が期待できる。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>市HPにおいて、みえ森と緑の県民税の概要を伝えるとともに、本事業の事業効果を写真と共にわかりやすくPRしている。中学校卒業記念品配布事業では、生徒にメッセージカードを配布し、県産材を利用する大切さを伝えている。危険木除去事業では市内自治会長に事業案内文書を送付することで、みえ森と緑の県民税を活用して周辺住民の生活の安全を確保し、暮らしに身近な森林づくりに寄与していることを伝えている。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部団体への委託費に充てる際は金額の根拠がわかる資料をお願いします。</li> <li>・里山竹林環境保全支援事業において、8団体が資金を活用してどのような活動をおこなったのかが見えるようにしていただくと評価が代わるかもしれません。現状では一部の活動実態でしか評価できないのが残念です。</li> </ul>	

6. 事業別評価表

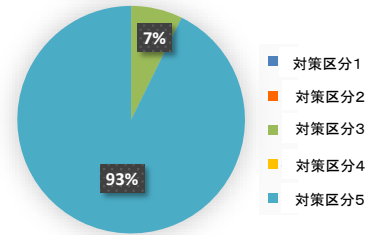
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木の除去事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.7	C
2	2	里山竹林環境保全支援事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
3	2	鳥獣害につよい森林整備事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
4	3	中学校卒業記念品配布事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
5	3	森林環境教育支援事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
6	5	自然環境保全事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	3.3	B

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「令和5年度版三重県市町要覧」「令和4年度版森林・林業統計書」による

市町名	木曾岬町	三重県
人口（人）	5,774	1,731,863
年少人口割合（％）*1	8.6%	11.6%
森林面積(ha)	0	372,030.08
民有林面積(ha)*2	0	348,561.87
森林率(%)	0.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	11.6	10.6

対策区分別事業費割合



\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）							
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立	
1	3	森林環境教育事業	653,164	653,164			653,164				
2	5	暮らしを守る緑保全事業	10,883,400	8,287,227					8,287,227		
計			11,536,564	8,940,391	0	0	653,164	0	8,287,227	0	

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>木曾川の河口部に位置する当町は森林率が0%と、日常生活の中で森林にふれあう機会がなく町内の鍋田川線桜並木は、重要な観光資源であると同時に地域住民が緑にふれあい自然環境の大切さを知る貴重な場となっております。これらを踏まえ、鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの食害から守るため、防除業務や被害木の伐採を行って被害防止対策を実施しました。</p> <p>また、町内を流れる木曾川の恵みが上流の森林に由来するものであることを認識するため、本町と木祖村の中学生同士が交流する機会を設けました。</p>
事業実施により期待される効果	<p>鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの食害から守るため、全木を対象にした調査と台帳整備、樹幹注入を行うことでクビアカツヤカミキリの被害低減を狙い、地域住民や道路利用者の安全確保と貴重な自然環境の保護につながる事が期待できる。また、森林環境教育については、中学校生徒や学校教育者に対し、森林をはじめとした自然環境でのフィールドワークを行うことで、森への理解を深め、保護者とともに自然保全意識を高める。</p>
情報発信への取組	<p>町広報誌への防除業務の内容と目的を掲載し、町民に対し県民税が安全や自然環境の保全に役立てられていることをPRしたほか、ポスター掲示や町HPでも同内容を紹介し、より多くの人の目に留まるよう取り組んでいる。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・町民が山や森林に触れる機会をつくっていくことが大切だと思います。森林環境教育事業の推進に期待しています。	

6. 事業別評価表

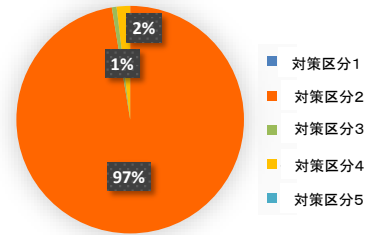
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	森林環境教育事業	3.3	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
2	5	暮らしを守る緑保全事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「令和5年度版三重県市町要覧」「令和4年度版森林・林業統計書」による

市町名	東員町	三重県
人口（人）	25,740	1,731,863
年少人口割合（％）*1	13.7%	11.6%
森林面積(ha)	153.78	372,030.08
民有林面積(ha)*2	153.78	348,561.87
森林率(%)	7.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	15.5	10.6

対策区分別事業費割合



\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐倒等業務	13,946,900	12,124,572		12,124,572				
2	3	森林教育授業	84,249	84,000			84,000			
3	4	公共施設等の備品等購入	270,820	238,000				238,000		
計			14,301,969	12,446,572	0	12,124,572	84,000	238,000	0	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>本町では、北部を中心に名古屋や四日市といった近郊都市部のベッドタウンとして開発が進み、現在森林率が8%程度と森林が少なく、また各地に分散している状況ですが、森林は地域住民の憩いの場として日常的に活用されてきました。</p> <p>このため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備を進め、地域住民が安全に安心して地域の里山にふれ、森や木の大切さへの理解を深める取組を進めていきます。</p> <p>また、小学校による森林教育授業においては森林の機能や大切さを学ぶことにより、自然環境の役割を考え、行動していく力を養っていきます。</p> <p>その他、教育施設及び福祉施設において木質製品などを取り入れることにより、児童や地域住民が木に触れ合う機会を創出していきます。</p>
事業実施により期待される効果	<p>森林環境の保全及び地域住民の森林への意識の醸成が図られた。現地（民家裏等）での調査や作業の際、県民税や事業について詳細に説明する機会が多く、好意的な反応を示していただき、県民税への理解及び森林への関心を高めることができた。</p>
情報発信への取組	<p>工事看板に「みえ森と緑の県民税交付金事業」にて実施していることを表記。また、自治会での施工周知説明時に事業の概要についても説明。購入した備品等に「みえ森と緑の県民税」のロゴマークを刻印し、周知を図る。</p> <p>その他、町のHP・広報誌に事業の成果を掲載し、県民税を活用し事業を実施した旨を周知。</p>



5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・公共施設等の備品等購入においては、当県民税がこのような形で使われているのだと分かる取り組みだと思えます。お箸は食育の視点でも効果があり、よい取り組みだと思えます。</p>	

6. 事業別評価表

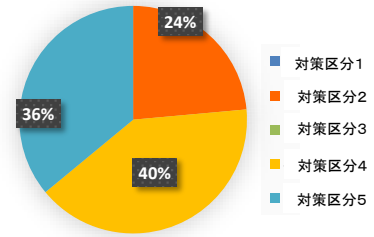
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐倒等業務	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
2	3	森林教育授業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
3	4	公共施設等の備品等購入	3.0	B	3.3	B	2.7	C	2.7	C

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「令和5年度版三重県市町要覧」「令和4年度版森林・林業統計書」による

市町名	菟野町	三重県
人口(人)	40,134	1,731,863
年少人口割合(%) * 1	13.6%	11.6%
森林面積(ha)	5,313.17	372,030.08
民有林面積(ha) * 2	5,237.24	348,561.87
森林率(%)	50.0%	64.0%
都市公園面積(m <sup>2</sup> /人口) * 3	4.5	10.6

対策区別別事業費割合



\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)(当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	病虫害被害木伐採搬出事業	6,169,000	3,083,000		3,083,000				
2	2	危険樹木伐採事業	490,900	122,725		122,725				
3	4	幼児期から木に親しむ木育推進事業	2,501,733	2,501,733				2,501,733		
4	4	保育所等木製遊具購入補助事業	3,000,000	3,000,000				3,000,000		
5	5	シデコブシ群生地周辺林地整備	4,896,540	4,896,540					4,896,540	
計			17,058,173	13,603,998	0	3,205,725	0	5,501,733	4,896,540	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.04ha 4本	490,900	122,725	菟野町田光地内において事前伐採4本(補償費含)

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>菟野町は、鈴鹿山脈の麓に位置する自然豊かな環境に恵まれた場所にあり、湯の山温泉や御在所ロープウェイなど、四季折々の自然を満喫できる観光スポットを有しており、多くの観光客が訪れます。このような中で、みえ森と緑の県民税を活用し、基本方針でもある「災害に強い森林づくり」の推進のため、病虫害や松枯れなど、倒木の恐れがある危険木の除去を進めることで、地域住民の安全な生活環境を守るとともに、「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進のため、当町の森林資源を活用して地域住民や当町を訪れる人が地元の森林環境の魅力を感じ、自然環境保全の大切さや森林資源活用の意義について考え、学ぶ場の整備を進めます。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>公共の道路に倒木の可能性がある又はライフラインに支障を与える可能性がある危険木を事前伐採することにより、通行者に対する安全の確保及び電線断線の危険の排除ができ、また、病虫害による被害拡散を防止することで地域住民の安全な生活環境の保全に繋がっている。</p> <p>また町内幼保園や子育て支援センターで使用する遊具や家具を購入することにより、施設利用者やその保護者に活用していただいております。菟野町を含めた森林環境の魅力を感じ、木材活用の大切さを学ぶ貴重な場となっている。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>伐採作業時はのぼり旗を使うことにより、みえ森と緑の県民税を使って作業していることを通行者にPRした。また、町のホームページで事業報告を行う。木育推進事業においては、購入した家具・遊具に対して、焼き印もしくはシールによりロゴを入れて、みえ森と緑の県民税を活用していることを周知している。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・県を代表するような山々がある自治体ですので山や森林に触れるような機会、登山道の保全なども検討されると受益者がより増えるのではないかと思います。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	病虫害被害木伐採搬出事業	3.0	B	3.3	B	3.0	B	2.7	C
2	2	危険樹木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C
3	4	幼児期から木に親しむ木育推進事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C
4	4	保育所等木製遊具購入補助事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C
5	5	シデコブシ群生地周辺林地整備	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧（令和5年度版）」「令和4年度版森林・林業統計書」による

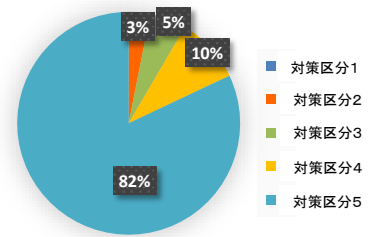
市町名	朝日町	三重県
人口（人）	11,140	1,731,863
年少人口割合（％）*1	17.5%	11.6%
森林面積(ha)	63.06	372,030.08
民有林面積(ha)*2	63.06	348,561.87
森林率(%)	11.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	2.1	10.6

\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）	588,000	588,000	588,000					
2	3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	1,002,480	1,002,480			1,002,480			
3	4	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）	1,925,000	1,800,000				1,800,000		
4	5	教育文化施設ピオトープ再生整備事業	16,189,800	15,464,412					15,464,412	
計			19,705,280	18,854,892	0	588,000	1,002,480	1,800,000	15,464,412	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>当町は三重県一小さい自治体であり、森林面積も約63haと狭小であるが、63haの25%に当たる約16haが竹林であり、竹林割合の高さでは県内一である。また、人口が増加し続け子どもが多い若い町であり年少人口（15歳未満人口）割合も日本一である。</p> <p>これらの特徴を踏まえ、町と町民により適正に管理された竹林・里山・緑地や、そこから生み出される生産物等を通じ、若年層や親子が森や緑と親しめる取り組みに県民税を活用することで、竹林・里山・緑地が地域の中で魅力を発揮している姿を目指す。</p> <p>その実現のため、幼児教育段階から緑に親しむ機会を創出する「幼保一体化施設の緑化」や、あさひ竹プロジェクトの一環として、竹を使った様々な体験・学びの場を創出する「森林環境教育事業」、町民による自主的な竹林・里山整備を支援する「里山・竹林環境保全支援事業」を実施した。また、令和5年度より新たに、集客力の高い町所有施設である教育文化施設内の調整池兼親水公園をピオトープとして再生し、町民が身近な水辺空間を楽しみ、生物多様性に係る認識を深めることを目指す「教育文化施設ピオトープ再生整備事業」を実施した。</p>
事業実施により期待される効果	<p>これまでのあさひ竹プロジェクトの取組の結果、町民の里山に関する関心が高まった結果自主的な里山整備が進み、整備された場所での親子だけのこ掘り体験等の企画に繋がっている。粉碎後の竹チップをコンポストに活用するという取り組みも始まっている。</p> <p>竹あかりづくりは完全に地域に定着し、地域住民により干支（辰）のデザインの竹あかりづくりが企画され、元旦に地域の神社に展示されるなど、広がりを見せている。なお、地域住民主催の竹あかりづくりにおいては、全て町内の高齢者中心のサークル「竹細工サークル」が講師を務めており、竹あかりづくりを通じて世代間交流にも繋がっている。竹の花挿しはテレビ取材も多く、テレビ放送をきっかけに朝日町を訪れる方も現れている。</p> <p>ピオトープは現時点では工事施行中であるが、工事中の現場では何を作っているのか？という町民からの問いかけは多く、関心の高さが伺える。</p> <p>以上から、事業実施により里山やピオトープを中心にした自然を身近に感じ、大切にする機運が確実に高まっており、より多くの町民が自分事と捉え自ら行動する姿が期待される。</p>
情報発信への取組	<p>町のHP、広報紙等を通じた一般的なPRを実施したほか、竹プロジェクト関係の取組は各種メディアに、令和5年度は特にテレビに取り上げられている。また、竹あかりの来場者に対してQRコードを活用したアンケートを実施し良好なアンケート結果が得られたと同時に、多くの方にみえ森と緑の県民税の存在を周知することができた。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・ピオトープについて、住民に知らせていくためには、もう少し工夫が必要と感じる。	

6. 事業別評価表

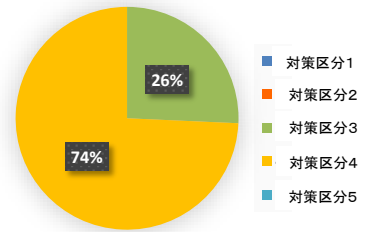
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	里山・竹林環境保全支援事業 （あさひ竹プロジェクト）	3.3	B	3.3	B	3.7	A	3.3	B
2	3	森林環境教育事業（あさひ竹 プロジェクト）	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.7	A
3	4	森と緑とふれあう環境づくり 事業（幼保一体化施設）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
4	5	教育文化施設ピオトープ再生 整備事業	2.3	C	2.7	C	2.7	C	2.7	C

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「令和5年度版三重県市町要覧」「令和4年度版森林・林業統計書」による

市町名	川越町	三重県
人口（人）	15,492	1,731,863
年少人口割合（％）＊1	14.3%	11.6%
森林面積(ha)	0.00	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	0.00	348,561.87
森林率(%)	0.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0.3	10.6

対策区分別事業費割合



＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	川越中学校自然教室	1,330,216	835,000			835,000			
2	3	川越北小学校自然教室	799,808	387,000			387,000			
3	3	川越南小学校自然教室	506,065	286,000			286,000			
4	4	川越北小学校図書室棚購入	550,000	522,000				522,000		
5	4	川越町ボランティア施設 （仮称）建設工事	117,128,000	3,835,000				3,835,000		
計			120,314,089	5,865,000	0	0	1,508,000	4,357,000	0	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
森林再生力強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>当町は三重県の北部に位置し、北は員弁川、東は伊勢湾に臨む地形であり森林を有していない町です。人口は増加しており、年少人口割合は県平均を上回っている状況にあります。この状況において、学校施設への木製備品の設置や自然の中で森林や木材について学ぶ機会をもつことで、森林や緑を大切に思い育む人づくりを進めます。また、公共施設の木質化を通じて、町民が森林や木材について、学びふれあう場を提供することで森林教育を行います。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>緑豊かな環境の中で、集団生活を通じ学校生活における「仲間づくり」や「信頼関係」の土台を築き、自然と触れ合うことで、身近な木や緑に親しむ機会を増加させることができる。また、身近な公共施設への県産材の使用や、学校で木製品に触れることにより、三重県の森林や木材への関心を深めてもらい木の温もり、肌触りや香りを身近に感じることができ、木材利用に対する理解や関心が深まる。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>学校だよりや学年通信を活用し、自然教室を通じた子供の成長や取組について、情報を提供した。 また、町HPを活用し、みえ森と緑の県民税市町交付金の活用実績について、情報発信した。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・生徒や児童が森林に触れるような体験学習の場を継続していただきたいと思いました。また、町民が山や森林に触れるような機会をつくることも大切ではないかと思います。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	川越中学校自然教室	3.3	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
2	3	川越北小学校自然教室	3.0	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
3	3	川越南小学校自然教室	3.0	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
4	4	川越北小学校図書室棚購入	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
5	4	川越町ボランティア施設 (仮称) 建設工事	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「令和5年度版三重県市町要覧」「令和4年度版森林・林業統計書」による

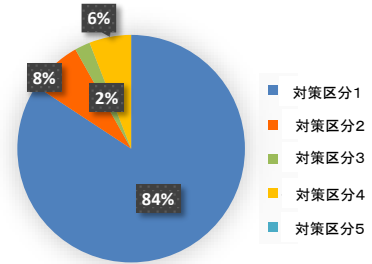
市町名	津市	三重県
人口(人)	269,973	1,731,863
年少人口割合(%) * 1	11.8%	11.6%
森林面積(ha)	41,532.42	372,030.08
民有林面積(ha) * 2	40,791.91	348,561.87
森林率(%)	58.0%	64.0%
都市公園面積(m <sup>2</sup> /人口) * 3	7.9	10.6

\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)							
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立	
1	1	津市林地残材搬出促進事業	28,250,500	28,250,442	28,250,442						
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	10,190,278	2,547,570		2,547,570					
3	3	津市森林環境教育事業	483,688	483,688			483,688				
4	3	美里水源の森「林業体験」事業	251,600	250,000			250,000				
5	4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	432,300	432,300				432,300			
6	4	コミュニティ施設における木育環境整備事業	1,916,343	1,564,000				1,564,000			
計			41,524,709	33,528,000	28,250,442	2,547,570	733,688	1,996,300	0	0	

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	58.82ha	36,848,900	36,848,900	特定水源地域の森林の調整伐
森林再生力強化対策事業	6,998m	5,680,907	5,680,907	獣害防護柵設置
災害からライフラインを守る事前伐採事業	伐採137本 植栽244本	10,190,278	2,547,569	ライフラインを寸断する恐れのある立木の伐採

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の森林面積は、総面積711km<sup>2</sup>の58.4%にあたる415km<sup>2</sup>を占めており、人工林率は82%と古くからスギ、ヒノキの造林が盛んに行われている森林が多い。一方で、高速道路や鉄道、海上アクセスなど交通インフラ、大学や短期大学など高等教育機関、大学病院等の医療機関など県都として都市機能が集積されていることから、流域の上流のみならず、下流の市民の方々も森林の恩恵を受けている。</li> <li>上流から下流の市民の生命と財産を守るため、森林に対して直接県民税を投じて災害に強い森林づくりを図るとともに、下流域の市民の方々にターゲットとした森林環境教育事業、木育環境整備事業等を併せて進めていく。</li> </ul>
事業実施により期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>林地残材の減少により河川への流出危険性が減少し、減災効果が得られた。また、バイオマス発電燃料として未利用材の有効活用が進んだ。</li> <li>直接木に触れることや、森林のはたらきについて学ぶことで、循環可能な資源である木材を利用する意義を知るとともに、森林の持つ公益的機能の理解を深めることができ、森を育む人としてのきっかけづくりの場を提供することができた。</li> <li>木育ができる環境整備を行い、木に触れあっていただくことで、木のぬくもりや質感を感じ、木づくりに興味関心を持っていただくことが期待できる。</li> </ul>
情報発信への取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施箇所については、税ののぼり旗により啓発を行った。</li> <li>県民税の活用についてホームページや広報誌等に掲載した。</li> <li>森林環境教育の参加者の募集方法として、「夏休み森と緑の親子塾」「まると林業体験」は広報津を活用し、広く募集に関する周知を図った。</li> <li>アンケートを行い、次回以降の取組へ反映する。</li> <li>市町交付金事業のパネルを市役所庁舎及び県津庁舎に掲示し、PRを行った。</li> </ul>



5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信が不十分です。単に事業の直接的な効果だけでなく、税の意義、使用の目的、目指す効果などを伝えるとともに、事後評価（アンケートや波及効果など）をすべきと思います。</li> <li>・多様な取り組みが認められる。</li> </ul>	

6. 事業別評価表

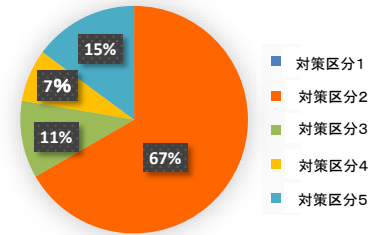
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	1	津市林地残材搬出促進事業	3.0	B	2.8	C	3.0	B	2.8	C
2	2	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	3.0	B	2.8	C	3.3	B	3.3	B
3	3	津市森林環境教育事業	3.3	B	3.5	A	3.0	B	3.0	B
4	3	美里水源の森「林業体験」事業	3.5	A	3.3	B	3.0	B	3.0	B
5	4	子育て支援センターにおける 木育環境整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
6	4	コミュニティ施設における木 育環境整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.5	C

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧（令和5年度版）」「令和4年度版森林・林業統計書」による

市町名	松阪市	三重県
人口（人）	155,119	1,731,863
年少人口割合（%）*1	12.0%	11.6%
森林面積(ha)	42,802.00	372,030.08
民有林面積(ha)*2	41,341.14	348,561.87
森林率(%)	69.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	11.9	10.6

対策区分別事業費割合



\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	里山の森林安全安心対策事業	13,030,600	12,931,500		12,931,500				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	20,113,937	5,000,000		5,000,000				
3	3	森林環境学習事業	2,887,500	2,887,500			2,887,500			
4	3	松阪の木魅力発信活動事業	217,655	72,000			72,000			
5	4	保育園木育推進事業	3,073,400	2,000,000				2,000,000		
6	5	都市公園整備事業	4,599,100	4,000,000					4,000,000	
計			43,922,192	26,891,000	0	17,931,500	2,959,500	2,000,000	4,000,000	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	11.76ha	4,530,900	4,530,900	間伐11.76ha、現地調査8箇所ほか
森林再生力強化対策事業	11,969m	7,652,501	7,652,501	防護柵補助11,969m
災害からライフラインを守る事前伐採事業	1.98ha	20,113,937	5,000,000	危険木伐採1,861本

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>松阪市ではみえ森と緑の県民税市町交付金の活用主旨に則り「災害につよい森林づくり」を目指しつつ川上から川下まで普く当該交付金を有効に活用すべく7つの事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 里山の森林安全安心対策事業…民家裏、重要施設付近、幹線道路沿線等において懸案となっている支障木を伐採し、住民の安全安心を確保する目的で実施。</li> <li>2. 災害からライフラインを守る事前伐採事業…台風や近年多発するゲリラ豪雨等による倒木被害に起因する停電被害を防止すべく、リスクマネジメントの一環として、被害想定箇所の事前伐採を実施し、県民・市民の安全安心を確保する。</li> <li>3. 森林環境整備事業…管内小学校を対象に森林環境教育を実施。</li> <li>4. 松阪の木魅力発信活動事業…松阪地域の林業、木材産業に携わる若手後継者で構成する団体「松阪地区青和会」が開催する、学校等における木育や森林教育イベントの活動補助等を実施。</li> <li>5. 保育園木育推進事業…市内の保育園の備品を木質化し、森林や木材について学び、幼少期より木との関係を深める。</li> <li>6. 都市公園整備事業…都市公園内に地域産材を使用した東屋を設置し、利用者に木の持つ「温かみ」「やすらげる空間」を提供すると共に、森林、緑、水辺の自然と親しむ環境整備を実施。</li> </ol>
事業実施により期待される効果
<p>里山の森林安全安心対策事業及び災害からライフラインを守る事前伐採事業については、自助努力により対応できない箇所について、配電事業者や地域と連携しながら実施したことにより、物理的な安全安心の確保に加え森林所有者による事業実施後の管理意識の向上に繋がった。森林環境学習については、小学校の従来のカリキュラムである清掃工場における環境学習に加え当該事業を実施したことにより、飛躍的に森林の公益的機能の理解が定着すると好評を得ている。</p>
情報発信への取組
<p>森林整備・都市公園整備遂行にあたり、地域住民への回覧等による情報伝達時に併せて県民税のPRチラシ配布し積極的な啓発を行っている。森林環境学習については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙上において、情報を発信した。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な事業をされているので多くの市民が受益を受けていることがわかります。広報誌やHPなどにもっと掲載しても良いのではと感じました。</li> <li>・「松阪の木魅力発信活動事業」は地域の産業を盛り立て、次世代の担い手育成にもつながる良い取組だと思います。</li> </ul>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	里山の森林安全安心対策事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
3	3	森林環境学習事業	3.3	B	3.0	B	2.7	C	2.7	C
4	3	松阪の木魅力発信活動事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
5	4	保育園木育推進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
6	5	都市公園整備事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧(令和5年度版)」「令和4年度版森林・林業統計書」による

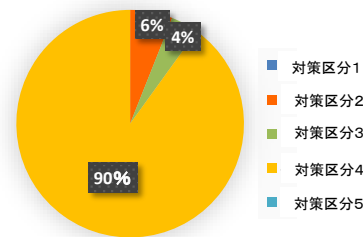
市町名	多気町	三重県
人口(人)	13,538	1,731,863
年少人口割合(%) * 1	11.8%	11.6%
森林面積(ha)	5,915.33	372,030.08
民有林面積(ha) * 2	5,915.33	348,561.87
森林率(%)	57.0%	64.0%
都市公園面積(m <sup>2</sup> /人口) * 3	24.5	10.6

\* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)(当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	2,887,500	700,000		700,000				
2	3	木とふれあう教育支援事業	570,460	456,104			456,104			
3	4	木とふれあう環境づくり事業	10,458,800	10,458,800				10,458,800		
計			13,916,760	11,614,904	0	700,000	456,104	10,458,800	0	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	13.67ha	4,602,400	4,602,400	
森林再生力強化対策事業	1,306m	2,014,985	2,014,985	
災害からライフラインを守る事前伐採事業(伐採調査)	0.66ha	2,887,500	700,000	
災害からライフラインを守る事前伐採事業(伐採施工)	0.1ha			

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>多気町は、三重県のほぼ中央部に位置し、森林面積は約57%を占めている。地域住民の生活に密着した里山から、林業生産活動が実施されるべき人工林等多様な森林構成になっている。しかしながら、森林所有者の高齢化にともない維持管理が難しい状況である。そのため、森林の荒廃、里山では竹林の増加といった問題がある。そのため県民税を利用し、地域住民に木に触れる機会を提供し、森林の役割について理解を促す。また、地域住民が安心・安全に生活ができるようライフラインを守る事前伐採事業を実施する。</p>
事業実施により期待される効果	<p>県産木材を利用した木製備品を小学校、保育園に導入・配置したことにより、木に対する関心がたかまり、また多くの地域住民が集まる公共野外施設(天啓公園)や令和6年7月(予定)にリニューアルオープンのごかつら池ふるさと村どうぶつパーク(花と動物ふれあい広場)に木製遊具等を配置したことにより、多くの方に木の素晴らしさを実感していただくことができる。</p> <p>危険木を実践に伐採することにより、より安全・安心した住民生活を送ることができる。</p>
情報発信への取組	<p>多くの地域住民の方に、木製備品の素晴らしさを理解してもらい、また危険木の伐採により安全・安心した生活を送ることができるということを広報誌等で情報発信した。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	

6. 事業別評価表

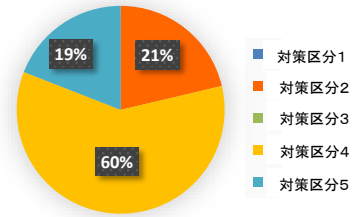
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
2	3	木とふれあう教育支援事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
3	4	木とふれあう環境づくり事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧（令和5年度版）」「令和4年度版森林・林業統計書」による

対策区分別事業費割合

市町名	明和町	三重県
人口（人）	22,215	1,731,863
年少人口割合（%）*1	12.9%	11.6%
森林面積(ha)	310.97	372,030.08
民有林面積(ha)*2	310.97	348,561.87
森林率(%)	8.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	13.2	10.6



\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	松林整備事業	1,485,000	1,300,000		1,300,000				
2	2	危険木除去事業	699,600	600,000		600,000				
3	4	学校木製備品導入事業	4,620,000	4,512,000				4,512,000		
4	4	木製ブース設置事業	1,060,664	800,000				800,000		
5	5	木造施設設置事業	3,113,000	1,700,000					1,700,000	
計			10,978,264	8,912,000	0	1,900,000	0	5,312,000	1,700,000	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>明和町は三重県の中南部に位置し、総面積41.04平方キロメートルで、民有林面積は310.97ha、保安林は33.87ha（うち防風保安林は18.90ha）あります。そのうち、マツの面積が210.24haであり、その占める割合は67.6%であり県平均（7.9%）よりかなり高い値です。しかし、松くい虫被害等により森林の持つ公益的機能の低下が懸念されることから、本町においては次に挙げる事業を行う。</p> <p>「災害に強い森林づくり」の推進として、沿岸沿いの防災林の役割及び景観を保持するため、松林の継続的な保護に取り組み、また、危険木の伐倒を行い地域住民等の安心と安全を確保する。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」として小学生のみでなく、多くの地域の方に三重県産材の備品に触れていただくことで、森林の大切さや自然環境について考える場を提供する。</p>
事業実施により期待される効果
<p>防風林としての役割維持。                      景観保持及び憩いの場としての提供。                      整備による利用者増及び森林理解を深める。                      子どもたちに日常的に木質の良さと温かさを実感してもらい、県産材の活用促進を図る。                      災害時の二次被害の拡大を抑制する。</p>
情報発信への取組
<p>町ホームページやポスター等を通して事業内容や森林保全に係る事項、効果等に関する周知を行う。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・全体的に情報発信が少ないと感じました。町HPで各事業を検索しても報告や写真などがあまりなかったのもう少し工夫が必要だと思います。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	松林整備事業	3.0	B	2.7	C	3.3	B	2.7	C
2	2	危険木除去事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
3	4	学校木製備品導入事業	3.3	B	3.0	B	2.7	C	2.7	C
4	4	木製ブース設置事業	2.7	C	2.7	C	2.3	C	2.3	C
5	5	木造施設設置事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.3	C

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧(令和5年度版)」「令和4年度版森林・林業統計書」による

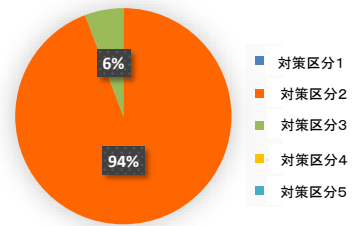
市町名	大台町	三重県
人口(人)	8,174	1,731,863
年少人口割合(%) * 1	8.9%	11.6%
森林面積(ha)	33,760.45	372,030.08
民有林面積(ha) * 2	27,941.63	348,561.87
森林率(%)	93.0%	64.0%
都市公園面積(m <sup>2</sup> /人口) * 3		10.6

\* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	19,723,299	4,930,000		4,930,000				
2	2	集落周辺等危険木伐採事業	20,508,400	8,227,000		8,227,000				
3	3	森林環境教育事業	803,000	803,000			803,000			
計			41,034,699	13,960,000	0	13,157,000	803,000	0	0	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	56.69ha	44,569,800	44,348,000	災害緩衝林事業の周囲の間伐
森林再生力強化対策事業	6,848m	5,409,984	5,409,000	獣害防護施設設置に対する補助
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.6ha	19,723,299	4,930,000	ライフラインを寸断する恐れがある樹木の事前伐採(741本)

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>「みえ森と緑の県民税」の趣旨である「災害に強い森林づくり」の推進については、防災減災対策の事業として、道路沿いに設置されたライフライン(電線)を風倒木被害から守り、交通障害や停電被害の減少及び孤立集落の発生を予防し地域住民の安全を確保するための危険木伐採を実施しました。集落周辺や人家等への風倒木被害を未然に防ぎ、住民の安全・安心を確保するため、集落の人家裏の人工林を帯状に間伐する事業を実施しました。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進については、地元の高校生を対象に森林の循環と森林から生まれる林産物を学習する場としてキノコ栽培実習と原木の植栽実習を奥伊勢フォレストピアで実施しました。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>災害からライフラインを守る事前伐採事業については、三重県、電力会社との共同の取組として実施し、風倒木被害から交通障害や停電被害の減少と孤立集落の発生を予防し地域住民の安全を確保することができた。また、集落周辺等危険木伐採事業については、地元区長からの要望等の聞き取りにより実施するなど、各関係機関と連携を図りながら実施することにより、地域住民の安全・安心の確保につながった。</p> <p>森林環境教育事業については、農林業を専攻する高校生を対象として実施したことにより、大台町の森林や林産物への関心や理解を深めることができたことと好評を得た。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>災害からライフラインを守る事前伐採事業については、県民税を活用した事業の趣旨等の情報発信を、広報紙、新聞記事(読売新聞)、町ホームページにより行った。環境学習については高校生に対して県民税の趣旨説明の情報発信を、広報紙、新聞記事(夕刊三重)、町ホームページにより行った。その他の事業についても施工中ののぼり旗等の設置や広報紙、町ホームページによる情報発信を行った。</p>



5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・「災害からライフラインを守る事前伐採事業」と「森林環境教育事業」は新聞掲載にもつながり、町民だけでなく県民全体にこの税金の事業内容が紹介される良い機会になったと思うので、引き続き県民税活用の様子を発信していただきたいです。</p>	

6. 事業別評価表

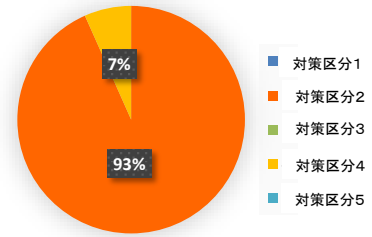
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	2.7	C	3.3	B	3.7	A
2	2	集落周辺等危険木伐採事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
3	3	森林環境教育事業	3.7	A	3.0	B	3.3	B	3.7	A

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧（令和5年度版）」「令和4年度版森林・林業統計書」による

市町名	伊勢市	三重県
人口（人）	119,444	1,731,863
年少人口割合（％）*1	11.3%	11.6%
森林面積(ha)	10,956.43	372,030.08
民有林面積(ha)*2	10,956.43	348,561.87
森林率(%)	53.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）*3	9.7	10.6

対策区別事業費割合



\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	森林整備事業	11,752,400	11,752,400		11,752,400				
2	2	危険木除去事業	5,292,100	5,292,100		5,292,100				
3	4	絆の森ウッドデッキ整備事業	1,265,000	1,215,387				1,215,387		
計			18,309,500	18,259,887	0	17,044,500	0	1,215,387	0	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>①森林整備事業 伊勢市の沿岸部には防風林として松林が広がっているが、近年の病虫害被害により枯れ松が激増し、保安林としての機能が低下し、倒木被害が心配されていることから病虫害被害を未然に防ぎ、地域住民の安全や防風林の機能維持を図る。</p> <p>②危険木除去事業 市内にある三郷山、音無山に残存している危険木を除去することで危険木による自然災害を防ぎ、地域住民に安全・安心な環境を提供する。</p> <p>③絆の森ウッドデッキ整備事業 朝熊町にある絆の森において、木育体験や森林とのふれあいを目的に様々なイベントを行っているが、当施設内に設置されているウッドデッキは腐食が著しく、一部破損している箇所もあり、施設利用者に危険を及ぼしている。このことを踏まえ早期に「森と人をつなぐ学びの場」として再整備し、森林教育等のフィールドとしてさらなる活用を図る。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>①病虫害被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図ることが出来た。</p> <p>②三郷山、音無山にある危険木を除去することで危険木による自然災害を防ぎ、地域住民に安心・安全な環境の提供を図ることが出来た。</p> <p>③絆の森内にあるウッドデッキを再整備することにより施設利用者、地域住民が安全・快適に利用することができるとともに、森林教育等のフィールドとしての活用を促進することが出来た。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>①施工前に地元自治会を通じて案内チラシを回覧することで、地元への周知を図っている。また、施工期間中は現地にのぼり旗の設置、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。</p> <p>②施工前に地元自治会を通じて案内チラシを回覧することで、地元への周知を図っている。また、施工期間中は現地にのぼり旗の設置、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。</p> <p>③施工期間中は現地にのぼり旗を設置している。また、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・情報発信が不十分です。単に事業の直接的な効果だけではなく、税の意義、使用の目的、目指す効果などを伝えるとともに、事後評価（アンケートや波及効果など）をすべきと思います。</p>	

6. 事業別評価表

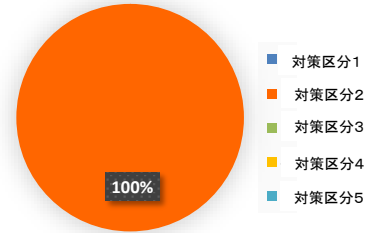
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	森林整備事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
2	2	危険木除去事業	3.3	B	2.8	C	3.3	B	3.0	B
3	4	絆の森ウッドデッキ整備事業	3.0	B	2.8	C	3.0	B	3.0	B

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「令和5年度版三重県市町要覧」「令和4年度版森林・林業統計書」による

対策区分別事業費割合

市町名	鳥羽市	三重県
人口(人)	16,529	1,731,863
年少人口割合(%) * 1	8.5%	11.6%
森林面積(ha)	7,483.76	372,030.08
民有林面積(ha) * 2	7,483.76	348,561.87
森林率(%)	70.0%	64.0%
都市公園面積(m <sup>2</sup> /人口) * 3	11.2	10.6



\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐採事業	1,878,000	1,877,152		1,877,152				
2	2	危険木伐採事業費補助金事業	8,033,000	8,033,000		8,033,000				
3	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	4,400,000	1,100,000		1,100,000				
計			14,311,000	11,010,152	0	11,010,152	0	0	0	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	110本	4,400,000	1,100,000	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>本市では、人工林率が25%となっており、人工林率が低く、天然率が高いことが特徴である。本市の強みである水産業と森林には密接な関連があり、本市内の森林を整備することで、水源涵養力や土砂流出災害防止などの森林本来の機能を回復させるとともに、森林の土壌に含まれているミネラルなどが川へ流れ込み海に入り、磯焼けの防止や藻場の再生につながり、海産物の育成などにも好影響が生じる。</p> <p>しかし、本市では急峻な地形であることや林業経営体が減少していることにより、森林整備が進んでおらず、海産物や市民生活に支障をきたす恐れがある立木が多い。そのため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備をすすめ、市民の生活に支障をきたすことがないようにするとともに、森林の整備を行うことが海の環境改善にもつながる。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>危険木の伐採を行ったことにより、市民が安心安全な生活を送ることができるようになった。また、危険木伐採(補助金)では、市が施行するまでの間に状況が変化し倒木する可能性がある。補助金事業として町内会が主体となって行うことにより、各町が一番危険と感じている木を最優先でそれぞれ伐採できるため、危険要因を排除できる。</p> <p>また、伐採木は実施した町内で必要とする人が必要分活用することにより、木がもつぬくもりや利便性を感じてもらえることができた。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>危険木伐採を実施する前に、対象となる町内会に回覧文書を作成し、周知を図った。また、施行後には町内会を通じて、伐採木活用意向を聞き取ってもらい、伐採木を引き取ってもらう人に対して周知を行った。</p> <p>市ホームページでは、県民税に関するページを作成し、紙ベースではなくインターネットでも実績の周知を図った。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信が不十分です。単に事業の直接的な効果だけではなく、税の意義、使用の目的、目指す効果などを伝えるとともに、事後評価（アンケートや波及効果など）をすべきと思います。</li> <li>・事業が伐採のみであるので、森林造成も検討をお願いしたい。</li> </ul>	

6. 事業別評価表

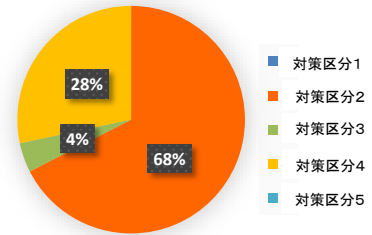
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
2	2	危険木伐採事業費補助金事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
3	2	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	3.3	B	2.8	C	3.3	B	2.8	C

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧(令和5年度版)」「令和4年度版森林・林業統計書」による

対策区分別事業費割合

市町名	志摩市	三重県
人口(人)	43,323	1,731,863
年少人口割合(%) * 1	8.2%	11.6%
森林面積(ha)	9,103.74	372,030.08
民有林面積(ha) * 2	9,101.49	348,561.87
森林率(%)	51.0%	64.0%
都市公園面積(m <sup>2</sup> /人口) * 3	6.7	10.6



\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)(当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	災害に強い森林づくり事業	6,493,300	6,493,000		6,493,000				
2	2	松くい虫防除事業	886,600	653,000		653,000				
3	3	森と緑ふれあい事業	443,850	443,000			443,000			
4	4	阿児ふるさと公園東屋設置事業	4,276,465	3,000,000				3,000,000		
計			12,100,215	10,589,000	0	7,146,000	443,000	3,000,000	0	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	7ha	2,640,000	2,640,000	調整伐
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>志摩市の森林の多くは、広葉樹が広がり、薪炭林などとして利用されていたが、社会情勢の変化により、里山としての森林利用がされなくなり、森林病害虫の発生が見られたり、獣害被害が農地や人家近くに及ぶようになってきた。</p> <p>この状況下において、森林の持つ多面的な機能を市民に知ってもらうために、木製品にふれあう機会を創出や体験型の講習会などを通じ里山保全の手法を体験していただき、市民による森と緑ふれあい事業の取り組みをさらに推進する。</p> <p>併せて災害に強い森林づくりとして森林整備を進めていく。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>①体験型の講習会を開催したことにより、森林への関心やその手法を市民に伝えることができた。</p> <p>②古くから海岸保全林として地元住民に親しまれていた松林の保全ができた。また、森林公園としての松林の保全ができた。</p> <p>③特定水源地域において、連携枠を活用し、調整伐を実施し、森林整備が促進された。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>事業実施時の工事看板及び備品購入にあたっては、当該備品に県民税活用した旨を記載したプレートを設置している。</p> <p>また、事業実施時において地元自治会長等に事業を周知する文書を配布するにあたり、文書内に県民税を活用して事業実施している旨の文言を記載して地元住民への周知を図っている。</p> <p>事業成果について、市ホームページで紹介している。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展示やHPでの発信など情報発信に取り組まれています，単に事業の直接的な効果だけではなく，税の意義，使用の目的，目指す効果などを伝えるとともに，事後評価（アンケートや波及効果など）をすべきと思います。</li> <li>・災害に強い森づくりの内容は，伐採のみである。県民の意識と近いか調査されたい。</li> </ul>	

6. 事業別評価表

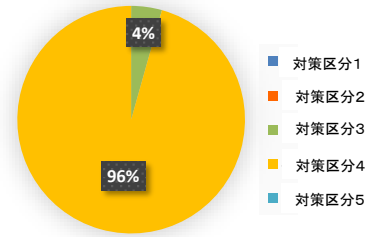
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	災害に強い森林づくり事業	3.3	B	2.5	C	3.3	B	3.3	B
2	2	松くい虫防除事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	2.8	C
3	3	森と緑ふれあい事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.5	A
4	4	阿児ふるさと公園東屋設置事業	2.8	C	2.5	C	3.0	B	3.3	B

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧（令和5年度版）」「令和4年度版森林・林業統計書」による

市町名	玉城町	三重県
人口（人）	14,745	1,731,863
年少人口割合（%）*1	13.6%	11.6%
森林面積(ha)	1,259.02	372,030.08
民有林面積(ha)*2	1,258.77	348,561.87
森林率(%)	31.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	26.3	10.6

対策区別事業費割合



\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	森林環境教育・木育事業	562,403	522,594			522,594			
2	4	公共施設整備事業	4,256,013	4,256,013				4,256,013		
3	4	公共施設用備品整備事業	7,194,000	7,194,000				7,194,000		
計			12,012,416	11,972,607	0	0	522,594	11,450,013	0	0

3. 令和5年度みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>本町は、三重県のほぼ中央に位置し、伊勢市、度会町、多気町、明和町に隣接している。総面積は40.91km<sup>2</sup>でそのうち、森林面積は1,259.02haで森林率は31%と低く、そのほとんどが民有林で人工林面積は1,133.59haで森林面積の90%を占めている。森林率が低いがゆえ、森林の良さ、木材の良さに気づかせることで、森林環境への関心・身近さを少しでも感じてもらいたいと考えている。</p> <p>このため、保育所や小学校で森林環境教育を実施して森を育む人づくりを行ったり、またアスピーア玉城で三重県産の木材を使用したりすることで、森と人をつなぐ学びの場として、多くの方々に森林の必要性、大切さを周知し、啓発していく。</p>
事業実施により期待される効果	<p>森林環境教育・木育を実施したことで森林への理解、森林の大切さを感じてもらう。</p> <p>また、木と触れ合える教育環境を児童や園児とその保護者、指導者に感じてもらい、木材の大切さ、活用の促進と森林への理解を深めてもらう。</p>
情報発信への取組	<p>町の広報誌（広報たまき）へ掲載し、町民に対して積極的に情報提供（PR）した。</p> <p>木育活動等を実施した施設の対象者（児童、園児）、教職員はもとより、その他の町民からも事業に対する理解の声をいただいた。</p>



5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・情報発信が不十分です。単に事業の直接的な効果だけではなく、税の意義、使用の目的、目指す効果などを伝えるとともに、事後評価（アンケートや波及効果など）をすべきと思います。</p> <p>・もし近年、危険木の除去を大々的にされたのであれば（しばらく実施していないようであれば）、実施を検討されたい。</p>	

6. 事業別評価表

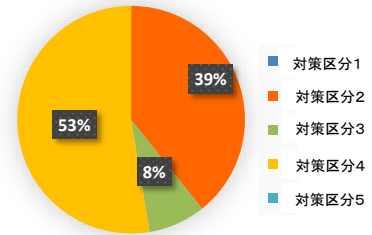
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	森林環境教育・木育事業	3.8	A	3.3	B	3.8	A	3.0	B
2	4	公共施設整備事業	3.0	B	3.0	B	3.5	A	2.5	C
3	4	公共施設用備品整備事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧（令和5年度版）」「令和4年度版森林・林業統計書」による

市町名	度会町	三重県
人口（人）	7,580	1,731,863
年少人口割合（％）＊1	10.7%	11.6%
森林面積(ha)	11,410.44	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	11,410.44	348,561.87
森林率(%)	85%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	10.2	10.6

対策区別事業費割合



＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐採事業	3,184,500	2,953,000		2,953,000				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,904,367	976,000		976,000				
3	3	森林環境教育推進事業	811,140	811,000			811,000			
4	4	県産材を活用した木製備品整備事業	5,259,100	5,259,000				5,259,000		
計			13,159,107	9,999,000	0	3,929,000	811,000	5,259,000	0	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m・本)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	22.91 ha	11,770,000	11,722,000	間伐等（環境林・特定水源地域）
災害からライフラインを守る事前伐採事業	525本	3,904,367	976,000	伐採施工、立木補償

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>本町は、三重県の南東部に位置する内陸地であり、町の西から東に流れる宮川・南から北へ流れる一之瀬川沿いに集落が広がっている。総面積のうち山林が85%占めており、古くから人工林の整備が進められてきたが、近年の木材価格の低迷や林業後継者不足により、林業経営が厳しい状況下となっている。</p> <p>本県民税を財源に本町では、第7次年度町総合計画に定める「みらい わたらい わかち愛 ～想いはぐくみ、幸せつなぐまち～」の将来像を基盤に、地域材で木材製品を整備し、地域材の利用を促進するとともに、森林について「学ぶ場」と「ふれあう場」を提供する。また、近年の災害状況を踏まえ、道路・河川・ライフラインに関連した暮らしの安全を守る強靱なまちづくりをすすめる。</p>
事業実施により期待される効果	<p>倒木の恐れのある道路沿いの危険木の伐採をすることにより、災害時等における通行止めやライフラインの寸断を未然に防ぎ、住民避難の安全性や、日頃の利用の安全性の確保が期待でき、森林との共生を実現できる。</p> <p>また、子どもたちへ木育授業や木工体験を行うことで、森林の魅力に触れるきっかけになり、森林に対して興味を持ってもらい、森林の機能・緑の大切さについての理解を深める機会になる。また、保育所や公園等の備品を木製で整備することで、木育授業を受けた園児や公園利用者に、木への親しみを深めてもらい、木材の良さ・木材利用の意義を知ってもらう場所としての活用が期待できる。</p>
情報発信への取組	<p>○HP掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。</li> <li>・事業実施後に、事業内容と写真を町HPにて掲載した。</li> </ul> <p>○回覧板・掲示板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施前、実施中に、交通障害のお知らせと併せて、県民税を活用して事業を実施していることを回覧板、掲示板にてお知らせした。</li> </ul> <p>○広報紙掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の内容を町広報誌に掲載した。</li> </ul> <p>○のぼり設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施中に、県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることをアピールした。</li> </ul> <p>○SNS活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容や写真、ライフライン事前伐採事業についてはドローンで撮影した動画や写真を町SNSに投稿した。</li> </ul> <p>○学校だより等掲載</p> <p>事業の内容や写真、県民税で事業を実施していることをアピールした。</p> <p>○ロゴマーク掲示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材製品に県民税のロゴシールを貼り、県民税で整備を行ったことを情報発信した。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮りパー度会パークで実施した春まつり時に、ベンチ周辺に県民税のチラシやのぼり旗を設置した。また、ベンチ利用者に県民税を活用してベンチを整備したことを説明した。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎内において事業の概要、実施前・実施後の写真を掲載した。</li> </ul>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インスタグラムを用いた情報発信や、ドローンを用いた事業内容の発信は、とても効果的だと思います。また、事後アンケートも実施されています。できれば、今後は、単に事業の直接的な効果だけではなく、税の意義、使用の目的、目指す効果などを伝えていただければと思います。</li> <li>・事業実績のアウトプット・アウトカムがわかりやすく整理してあります。</li> <li>・情報発信に工夫がみられる。</li> </ul>	

6. 事業別評価表

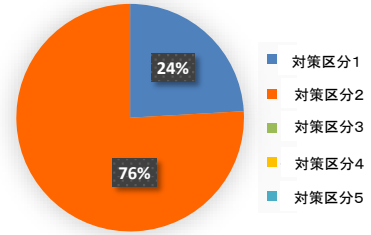
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.5	A	4.0	A
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.5	A	4.0	A
3	3	森林環境教育推進事業	3.5	A	3.5	A	3.8	A	4.0	A
4	4	県産材を活用した木製備品整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.8	A

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧（令和5年度版）」「令和4年度版森林・林業統計書」による

対策区分別事業費割合

市町名	大紀町	三重県
人口（人）	7,165	1,731,863
年少人口割合（％）＊1	6.7%	11.6%
森林面積(ha)	21,131.83	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	20,406.17	348,561.87
森林率(%)	91.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.4	10.6



＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	1	渓流倒木等処理事業	3,597,000	3,597,000	3,597,000					
2	2	生活環境林整備事業	4,403,300	4,403,000		4,403,000				
3	2	水道水源林町有林化事業	6,930,000	6,930,000		6,930,000				
計			14,930,300	14,930,000	3,597,000	11,333,000	0	0	0	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業	14.38ha	5,000,600	4,911,000	間伐等（災害緩衝林一体型）
森林再生力強化対策事業	1233m	623,744	623,000	植栽タイプ
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>大紀町は、大台山系に連なる山岳地帯に属しており急峻な地形で、本町面積23,332haのうち森林面積が21,133haとなっており、91%占めている。そのうち13,900haと人工林率は68%に達しており、人工林地帯である。本町では、基本方針1の「災害に強い森林づくり」を強力に進める為、生活環境林整備事業と渓流倒木等処理事業を実施し、町民生活の安全安心を向上させていく。また、非常時における森林内の危険木流出による被害拡大を軽減させる為、河川の上流部に位置する大紀町としての役割を果たすことで、県民全体の安全安心に繋げていく。水道水源林において、環境整備を促進し、安心・安全な水道水を確保する為に、水道水源林の町有林化を行っていく。三重県の景勝地と指定されている、大平つつじ山において、イベントや森林教育を行う場として、整備を促進していく。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>事業実施により、通常時、住民が利用する生活道路や、生活に直結している人家への安全性が向上したことで、非常時における避難や、被害拡大防止の観点からも、住民の安全安心を向上することができた。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>事業実施について、森林所有者や地区代表者に税事業での実施を説明している。</p> <p>事業実施中は、県民税職を事業箇所にて、県民税での事業実施をPRしている。</p> <p>事業完了後、当年行った事業においてPRポスターを作製し、庁舎掲示及び大紀町HPにアップ、町広報紙に掲載し税事業のPRを行う。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・HPにおいて、情報発信をされています。今後は、単に事業の直接的な効果だけではなく、税の意義、使用の目的、目指す効果などを伝えていただければと思います。</p> <p>・事業実績のアウトプット・アウトカムがわかりやすく整理してあります。</p> <p>・伐採や子供のイベント、公共機関の木材使用などで「税金が来たら使っている感」が漂う中、水源林確保は県民税の使い道として1歩進んでおり、高く評価できる。</p>	

6. 事業別評価表

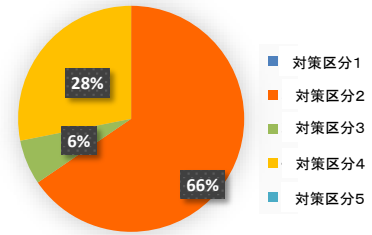
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	1	溪流倒木等処理事業	3.8	A	3.3	B	3.8	A	3.5	A
2	2	生活環境林整備事業	3.5	A	3.0	B	3.3	B	3.5	A
3	2	水道水源林町有林化事業	3.8	A	3.3	B	3.5	A	3.8	A

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧(令和5年度版)」「令和4年度版森林・林業統計書」による

市町名	南伊勢町	三重県
人口(人)	10,016	1,731,863
年少人口割合(%) * 1	5.5%	11.6%
森林面積(ha)	20,629.37	372,030.08
民有林面積(ha) * 2	20,429.98	348,561.87
森林率(%)	85.0%	64.0%
都市公園面積(m <sup>2</sup> /人口) * 3	0.2	10.6

対策区分別事業費割合



\* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木除去事業	7,782,500	7,752,000		7,752,000				
2	3	森林環境教育事業	761,200	761,000			761,000			
3	4	保育園木製備品購入事業	3,328,600	3,328,000				3,328,000		
				0						
計			11,872,300	11,841,000	0	7,752,000	761,000	3,328,000	0	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>当町の森林・林業を取り巻く情勢として、総土地面積の約85%(20,630ha)が森林で覆われているにもかかわらず、林業経営体は14経営体しかおらず、林業者が極めて少ない状況となっています。森林の整備についても、整備が行われていない森林が大半であり、森林所有者の関心が低くなっていることが窺えます。そのような状況の中、森林について興味関心が持てるように、公共施設周辺や通学路・避難道等にかかる危険木の除去や、森林環境教育事業による森や海を大切に思う子どもの育成、子どもや町民が森林や木材についてふれあいながら学ぶことができる場づくりなど、町民が将来にわたって安全安心に過ごしながら森や緑と関わる機会を創出することを目的に県民税を活用する。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>危険木の除去については、自然災害等による倒木を未然に防ぐことで、安全安心して暮らすことに寄与している。                  森林環境教育事業については、樹木について知識を得ることや木製品が身近にあることで森と緑の大切さを理解し、森林について考えるきっかけづくりへの寄与を期待している。                  保育園木製備品購入事業については、日常的に木材製品とふれあうことにより、木製品のあたたかみを感じることで保育環境の向上につながると考えている。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>町の広報誌やHP等への掲載することにより、情報発信を行いました。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・情報発信が不十分です。単に事業の直接的な効果だけではなく、税の意義、使用の目的、目指す効果などを伝えるとともに、事後評価（アンケートや波及効果など）をすべきと思います。</p> <p>・2は文章を読んだだけでは、子供が木工品を作ったのか授業を聞いただけなのか不明である。写真を見て活動の様子が理解できた。</p>	

6. 事業別評価表

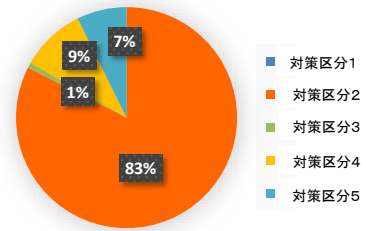
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木除去事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.8	C
2	3	森林環境教育事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.5	C
3	4	保育園木製備品購入事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.5	C

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧（令和5年度版）」「令和4年度版森林・林業統計書」による

対策区別事業費割合

市町名	名張市	三重県
人口（人）	74,380	1,731,863
年少人口割合（%）*1	11.6%	11.6%
森林面積(ha)	6,827.35	372,030.08
民有林面積(ha)*2	6,827.35	348,561.87
森林率(%)	53.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）*3	13.9	10.6



\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合  
 \*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）  
 \*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐採事業	7,676,326	7,676,326		7,676,326				
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	169,150	169,150		169,150				
3	2	人家裏危険木伐採事業	1,780,000	1,780,000		1,780,000				
4	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	4,028,200	1,000,000		1,000,000				
5	3	森林環境教育推進事業	100,000	100,000			100,000			
6	4	学校林整備事業	900,000	900,000				900,000		
7	4	屋外体育施設における木製ベンチ等設置事業	317,900	317,900				317,900		
8	5	森林公園等環境活用整備事業	640,000	640,000					640,000	
9	5	桜並木保全管理事業	300,000	300,000					300,000	
計			15,911,576	12,883,376	0	10,625,476	100,000	1,217,900	940,000	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・本数)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	8.5ha	3,025,000	3,025,000	災害緩衝林・特定水源地域整備事業の実施（間伐）名張市 上長瀬、青蓮寺 地内
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	33本	4,028,200	1,000,000	名張市内 10箇所

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>名張市は、周囲を山々に囲まれた山間盆地であり、林野率は52.7%、人工林率は65.0%で、森林の主体をなす私有林においては、5ha未満の所有者が全体の52.1%を占めている。特に、南部は森林資源が豊富で、かつては優良な木材を産出する地域であったが、最近の社会情勢の変化に伴い伐採適齢期を過ぎても放置されている森林が急増し、里山としての利用すらほとんどなくなっている。</p> <p>しかし、森林の持つ多様な公益的機能は市民にとってかけがえのない財産であり、名張市が目指そうとする「福祉の理想郷づくり」には欠かせない重要な要素であることから、森林の機能低下を防ぎその向上を図るため、災害に強い森林づくりとして森林整備を進めるとともに、市民が森と緑に触れ合う機会を創出し、森を育む人及び学びの場づくりを進める。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>「災害に強い森林づくり」に沿った事業の実施により、あまり手入れされることなく放置され、市民の生活圏を脅かしていた森林が整備されたことで、市民がより安心して暮らせるようになる。また、森林への関心が高まる今日、「県民全体で森林を支える社会づくり」に沿った事業の実施により、森林環境教育を推進し、次代を担う子どもたちが森林や緑に対する関心を深めることで森林の重要な役割に気付くきっかけづくりとなる。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>事業内容やその成果については広報誌及びHP、ラジオ放送により、広く市民に周知している。また、事業実施現場にはのぼり旗や看板を設置することで、みえ森と緑の県民税の存在を最大限周知できるよう努めた。保育・幼稚園、小学校関連の事業については、保護者だより等で事業実施を周知するとともに財源にはみえ森と緑の県民税が活用されていることを記載した。</p> <p>その他、3月上旬から始まる確定申告にあわせ、名張市役所1階にみえ森と緑の県民税に関するパネルを展示した。また、パネル展示に併せてみえ森と緑の県民税に関するアンケートを設置し、回答いただいた方にクリアファイル・ハンカチ等のグッズを配布することで、市庁舎を訪れる大勢の方に向けて県民税の周知を行い、アンケート結果から今後の事業改善につなげていくことに努めた。</p>



5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・色々な事業をされているので多くの市民が受益を受けていることがわかります。広報誌やHPなどにもっと掲載しても良いのではと感じました。	

6. 事業別評価表

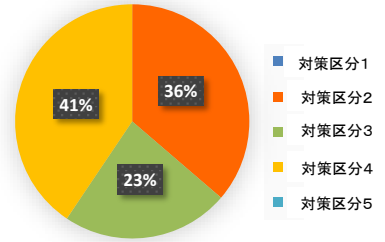
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B
3	2	人家裏危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
4	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
5	3	森林環境教育推進事業	3.3	B	2.7	C	3.3	B	3.3	B
6	4	学校林整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
7	4	屋外体育施設における木製ベンチ等設置事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
8	5	森林公園等環境活用整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
9	5	桜並木保全管理事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧(令和5年度版)」 「令和4年度版森林・林業統計書」による

市町名	伊賀市	三重県
人口(人)	85,087	1,731,863
年少人口割合(%) * 1	10.4%	11.6%
森林面積(ha)	33,870.24	372,030.08
民有林面積(ha) * 2	32,565.94	348,561.87
森林率(%)	61.0%	64.0%
都市公園面積(m <sup>2</sup> /人口) * 3	12.5	10.6

対策区別別事業費割合



\* 1: 全人口に占める15歳未満の人の割合  
 \* 2: 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)  
 \* 3: 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	みんなの里山整備活動推進事業	7,520,840	7,520,840		7,520,840				
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	2,558,280	2,558,280		2,558,280				
3	3	木づかい木育推進事業	2,705,786	2,705,786			2,705,786			
4	3	伊賀の森っこ育成推進事業	3,456,446	3,456,446			3,456,446			
5	3	地域の森と緑のつながり支援事業	59,234	59,234			59,234			
6	3	森のやすらぎ空間整備事業(伊賀の木活用人材育成)	200,000	200,000			200,000			
7	4	幼児教育・保育施設木製遊具整備事業	11,266,420	11,266,420				11,266,420		
計			27,767,006	27,767,006	0	10,079,120	6,421,466	11,266,420	0	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	41箇所、97.05ha	33,605,000	33,605,000	現地調査及び間伐実施
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<b>事業方針</b>	当市の森林面積率は、61%であり、周囲が森林に囲まれた立地にある。そのような背景を踏まえ、災害に強い森林づくりと住民全体で森林を支える仕組みづくりの両立を図ることが必要であることから、暮らしに身近な森林を住民自らの手で整備する事業を推進するとともに、木育を始めとして森林や緑を大切に思う人づくりに繋がる教育活動を支援する事業を推進している。
<b>事業実施により期待される効果</b>	みんなの里山整備活動推進事業では、事業を通して地域の山林として位置づけることで、維持管理する方向性が地区等で広がっている。また伊賀の森っこ育成推進事業においては、子ども達が森のはたらきや林業について学習することができ、森林環境や木材等に関して知識理解を深めることにつながっている。幼児教育・保育施設への木製遊具整備事業では、幼児期に木製遊具に触れることで木の温もりを実感することができ、木とふれあい、木製遊具で遊ぶことで、五感を刺激し感性を磨き、好奇心・集中力を高める効果が期待される。
<b>情報発信への取組</b>	【みんなの里山】各区長への郵送による事業の周知を行った。【木づかい木育・伊賀の森っこ】校長会で事業の周知を行った。【地域の森】各市民センターへのメール送付により事業の周知を行った。【木製遊具整備】遊具設置について報道機関による報道がされた。 ・本県民税の趣旨は、本県民税のミニのぼりを伊賀市において制作し、農林振興課窓口へのミニのぼりの設置に併せ、本県民税パンフレットを配置した。 ・木づかい木育推進事業によるフォトフレーム配布の際に、木育・森林・本県民税のことについてアンケートを実施した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・色々な事業をされているので多くの市民が受益を受けていることがわかります。広報誌やHPなどにもっと掲載しても良いのではと感じました。</p> <p>・未利用間伐材バイオマス利用推進事業について、16の実施箇所の面積と申請重量から1ha当たりの搬出立米数を計算しました。それぞれの1ha当たりの搬出立米数は2.667m<sup>3</sup>から311.657m<sup>3</sup>と量に大きく差があります。1ha当たりの間伐率などは決められていないのでしょうか。もし実施箇所において適切と思われる間伐の本数以上に伐採が進むと、その後の山の姿は立木本数が少ない、まばらに木が残っている山という状況になりかねないと考えます。P780の5. 公益性【受益者及び、期待する波及効果】には「森林の整備が進むことにより、森林の持つ公益的機能の向上の恩恵を受けることができる」とありますので、適切な間伐率などを考慮して実施していくべきと考えます。</p>	

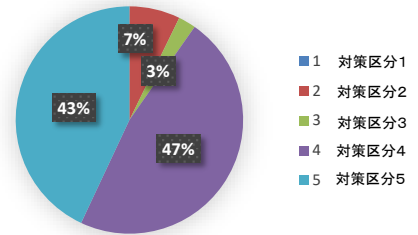
6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	みんなの里山整備活動推進事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
3	3	木づかい木育推進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
4	3	伊賀の森っこ育成推進事業	3.7	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
5	3	地域の森と緑のつながり支援事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C
6	3	森のやすらぎ空間整備事業 (伊賀の木活用人材育成)	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
7	4	幼児教育・保育施設木製遊具整備事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠、加算枠)事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧(令和5年度版)」 「令和4年度版森林・林業統計書」による 対策区別事業費割合

市町名	尾鷲市	三重県
人口(人)	15,139	1,731,863
年少人口割合(%) * 1	8.1%	11.6%
森林面積(ha)	17,694.96	372,030.08
民有林面積(ha) * 2	14,925.81	348,561.87
森林率(%)	92.0%	64%
都市公園面積(m <sup>2</sup> /人口) * 3	6.5	10.6



\* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2 : 国有林以外の森林(個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

\* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠・加算枠)事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円) (当年度交付金額+基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	人家裏危険木伐採事業	1,044,000	1,044,000		1,044,000				
2	3	尾鷲ヒノキを活用した保育園児等への山育事業	360,660	360,660			360,660			
3	4	木とふれあう学校環境づくり事業	138,600	138,600				138,600		
4	4	木とふれあう学校環境づくり事業(尾鷲中学校学習机・椅子整備)	4,246,000	4,246,000				4,246,000		
5	4	木とふれあう学校環境づくり事業(矢浜小学校学習机・椅子整備)	2,442,000	2,442,000				2,442,000		
6	5	中村山公園整備事業	3,421,000	3,409,242					3,409,242	
7	5	矢浜公園ほか立木伐採・処分及び森林教育事業	2,805,000	2,805,000					2,805,000	
計			14,457,260	14,445,502	0	1,044,000	360,660	6,826,600	6,214,242	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金(連携枠)(防災枠)事業実績

事業区分	事業量(ha・m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	近年では、災害による被害が拡大傾向にあることから、災害に強い森林づくりは大変重要なものであると考えている。また、危険木等を伐採したままにするのではなく、園児や児童、生徒への木育の機会を設けるツールとして利用する方法を考え、災害と森林教育の観点から事業の選定を実施している。
事業実施により期待される効果	人家裏の危険木伐採は、災害に強い町づくりの推進に一定の効果を得られたと考えており、この点については、事業実施後の住民の反応や声をみても、いずれも好意的なものであったため、安心安全の確保に効果があったと感じている。また、市内小・中学校へ地元産材で作った机、椅子を導入することにより、地元産材がどのような工程を経て机、椅子になったかを学習する良い機会になったと感じている。
情報発信への取組	市内の小中学校へ机導入の際に、生徒や親にみえ森と緑の県民税の説明を行うことや、市のホームページや広報誌に実績と計画を載せる等を行うことで市民への県民税の周知を行っている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・情報発信が不十分です。単に事業の直接的な効果だけでなく、税の意義、使用の目的、目指す効果などを伝えるとともに、事後評価（アンケートや波及効果など）をすべきと思います。</p> <p>・山育事業は、実際に幼児が山に入っている点で教育の質が高く感じられ、他の事業より高く評価できる。</p>	

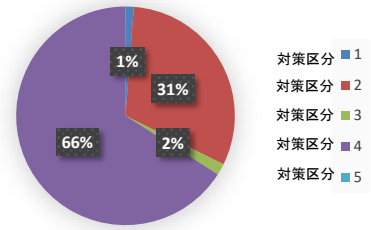
6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	人家裏危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.5	C
2	2	尾鷲ヒノキを活用した保育園児等への山育事業	3.8	A	3.5	A	3.8	A	3.8	A
3	4	木とふれあう学校環境づくり事業	3.5	A	3.5	A	3.5	A	3.3	B
4	4	木とふれあう学校環境づくり事業（尾鷲中学校学習机・椅子整備）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
5	4	木とふれあう学校環境づくり事業（矢浜小学校学習机・椅子整備）	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
6	5	中村山公園整備事業	3.0	B	2.8	C	3.3	B	3.0	B
7	5	矢浜公園ほか立木伐採・処分及び森林教育事業	3.0	B	2.8	C	3.3	B	3.0	B

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧（令和5年度版）」「令和4年度版森林・林業統計書」による

対策区別事業費割合



市町名	紀北町	三重県
人口（人）	13,611	1,731,863
年少人口割合（%）* 1	7.4%	11.6%
森林面積(ha)	22,931.86	372,030.08
民有林面積(ha)* 2	18,007.88	348,561.87
森林率(%)	89.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）* 3	55.4	10.6

\* 1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\* 2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\* 3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	1	河川周辺森林立枯木整備事業	405,593	405,593	405,593					
2	2	危険木伐採事業	11,178,066	10,216,466		10,216,466				
3	2	集落周辺森林（里山）整備事業	150,640	150,640		150,640				
4	3	森林環境教育活動支援事業	563,301	563,301			563,301			
5	4	町内学校等木質化事業	26,277,844	22,007,341				22,007,341		
計			38,575,444	33,343,341	405,593	10,367,106	563,301	22,007,341	0	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業	14.69ha	5,956,500	5,956,500	等高線並べの間伐による緩衝林化
森林再生力強化対策事業	3,745m	2,527,667	2,527,667	鳥獣害防護柵新設・補修
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	町民の安全・安心を守る暮らしに身近な森林づくりと、次世代を担う子どもたちが森林の大切さを学ぶ機会の創出
事業実施により期待される効果	河川周辺森林立枯木整備事業では、立枯木を伐採してしまうことにより、大雨が降った際に下流域の橋梁等を損傷させてしまうリスクを減らすことができた。危険木伐採事業においては、事業実施主体である各区の森林管理の意識の向上が見られ、補助金活用の要望が増加した。
情報発信への取組	紀北パーキングエリア内の始神テラスの一角や、町内イベントブースに展示スペースを設け事業成果を示したパネル展示や、ノベルティの配布を行った。また、町民向けの行政放送テレビチャンネルで県民税について取り扱いを行い、事業実施地にはPR用の木製標柱を設置した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・情報発信が不十分です。単に事業の直接的な効果だけでなく、税の意義、使用の目的、目指す効果などを伝えるとともに、事後評価（アンケートや波及効果など）をすべきです。特に、木質化による効果の評価は必須です。</p> <p>・地元住民で組織されたボランティア団体に資金の一部を提供し、山の整備を行う事業は、他に類似のものがなく、優れた仕組みと考えられる。ケーブルテレビによる情報発信は効果的であると考えられる。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	1	河川周辺森林立枯木整備事業	3.3	B	3.5	A	3.5	A	3.0	B
2	2	危険木伐採事業	3.0	B	3.3	B	3.5	A	3.0	B
3	2	集落周辺森林（里山）整備事業	3.8	A	3.8	A	3.8	A	3.0	B
4	3	森林環境教育活動支援事業	3.3	B	3.3	B	3.5	A	3.3	B
5	4	町内学校等木質化事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.8	C

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧（令和5年度版）」「令和4年度版森林・林業統計書」による

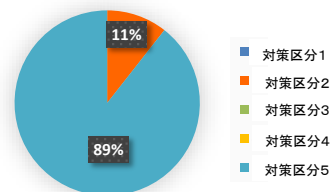
市町名	熊野市	三重県
人口（人）	14,926	1,731,863
年少人口割合（％）*1	9.3%	11.6%
森林面積(ha)	32,942.33	372,030.08
民有林面積(ha)*2	29,628.77	348,561.87
森林率(%)	88.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	12.5	10.6

\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	小・中学校危険木伐採・枝切事業	2,422,061	1,738,705		1,738,705				
2	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	14,679,900	14,672,900					14,672,900	
計			17,101,961	16,411,605	0	1,738,705	0	0	14,672,900	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	7.10ha	7,051,000	7,051,000	災害緩衝林実施箇所周辺の調整伐
森林再生力強化対策事業	4,258m	2,863,488	2,863,488	獣害防護柵設置
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>熊野市の地勢は内陸に向かうに従って紀伊山地の急峻な山地となり、森林面積は総面積の88%を占めている。また、民有林面積は29,628haと全森林の約90%を占め、うち人工林は22,921haと県下でも有数の林業地域である。しかしながら、林業を取り巻く環境は木材の長期的な低迷に加え、担い手の減少、林業従事者の高齢化、生産基盤の立ち遅れ等が極めて厳しく、このまま推移すれば森林の整備水準の低下等により公益的機能が十分に発揮されないなど、住民生活への影響が懸念されている。そのため、「災害に強い森林づくりと環境林の保全」という熊野市森林・林業ビジョンの基本方針の1つに沿って、防災機能の強化による安全・安心の実現、里山林整備と奥地天然林や溪畔林の保全、身近な森林の恵みを活用する環境づくりなど、森林が与えてくれるさまざまな恩恵を評価した上で、森林と積極的に付き合っていく取組を展開していく。令和5年度については、多くの利用者が継続して利用している森林公園に対し、樹木育成のための下刈りや支障木伐採を行い、多くの利用者・来訪者に緑を身近に感じてもらえる環境づくりに取り組んだ。また、市内の小・中学校の校庭において、倒木のおそれがある危険木を伐採することにより、児童生徒の安全・安心の確保に取り組んだ。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>市が公益性の判断で実施する事業には特定機能の維持を図るもののほか、生活道路や施設の利用者など多くの人々に効果を及ぼすものが多く、県民税事業を行うことにより、安全・安心に地元の森林や自然とふれあう環境を整備することができ、市民だけでなく市への来訪者にも恩恵を受けてもらう。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>事業実施の際にはのぼりや看板によって県民税のPRを行っているが、広い市域の中において事業箇所が点在しており、利用者の目にふれる機会が少ないことから、市のホームページに事業の計画と実績を紹介し、また市の玄関口であるJR熊野市駅や市街地に近い市文化交流センターにおいて例年パネル展示を行っている。</p>



5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・森とふれあいの場拠点づくり事業では、公園の草刈りや遊歩道の木柵改修、ビューポイントの支障木伐採と様々な整備をされています。整備の様子をHP、広報誌等で情報発信していただき、利用促進等につながることを期待しています。</p>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	小・中学校危険木伐採・枝切事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.7	C
2	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧（令和5年度版）」「令和4年度版森林・林業統計書」による

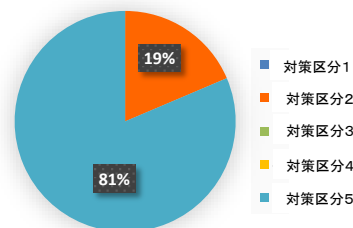
市町名	御浜町	三重県
人口（人）	7,738	1,731,863
年少人口割合（％）＊1	10.1%	11.6%
森林面積(ha)	5,696.85	372,030.08
民有林面積(ha)＊2	5,603.74	348,561.87
森林率(%)	65.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	21.6	10.6

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	学校危険木伐採事業	627,000	627,000		627,000				
2	2	町道危険木伐採事業	974,266	974,266		974,266				
3	5	森林公園等環境整備事業	7,009,600	7,005,516					7,005,516	
計			8,610,866	8,606,782	0	1,601,266	0	0	7,005,516	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>本町は、県南部に位置し、東部は雄大な太平洋熊野灘に面した海岸線沿いには、比較的平坦な低地が広がりますが、内陸部では山岳地帯を形成しており、人工林率は71%と県平均の62%を上回っていて、かつては積極的に植林がされてきた地域です。しかし林業経営の悪化などから森林への関心は薄れ、適切な整備がされず森林が持つ公益的機能が十分に発揮でいる状態ではない森林も見受けられます。</p> <p>このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、小中学校内や町道沿線の危険木の伐採や枝下ろしを行うことで町民の生活環境等の保全や向上を図り、「災害に強い森林づくり」を進めます。また、不特定多数の人が集まる町内の地元産品販売所等への木製備品配置を支援するとともに、森林公園等のフィールド整備を行うことで住民が木や緑とふれあう環境を身近なものにし、木の良さや木を使うことが森林整備につながることの重要性を広くPRしていく「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めます。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>町民や来訪者に利用される遊歩道及び公園を整備することで、多くの人が森林や緑と触れ合う機会をつくることのできた。寺谷公園を遠足先とする小学校もあり、また家族の利用者も多いため、地域の子供たちが森林にふれる環境をつくることのできた。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>町民や施設利用者へ県民税を活用して整備が行われていることを周知するため、作業期間中に県民税ののぼり等の設置、庁舎内でのパネル掲示を行った。</p>

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<p>・昨年度の学校危険木伐採事業では4箇所の小中学校で森林教育も実施されていました。「災害に強い森林づくり」を将来に引き継ぎ、対策区分3「森を育む人づくり」の事業としても、森林や緑を大切に思い、育む人づくりにつなげてほしいと期待します。</p>	

6. 事業別評価表

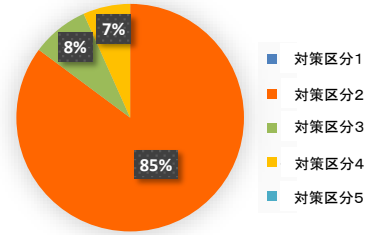
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	学校危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
2	2	町道危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.7	C
3	5	森林公園等環境整備事業	3.0	B	2.7	C	3.3	B	2.7	C

令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報「三重県市町要覧（令和5年度版）」「令和4年度版森林・林業統計書」による

対策区別事業費割合

市町名	紀宝町	三重県
人口（人）	9,951	1,731,863
年少人口割合（％）*1	11.1%	11.6%
森林面積(ha)	6,071.30	372,030.08
民有林面積(ha)*2	6,026.59	348,561.87
森林率(%)	76.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	7.9	10.6



\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	生活環境林整備事業	11,229,440	10,482,022		10,482,022				
2	3	森と緑の環境教育事業	1,000,000	1,000,000			1,000,000			
3	4	三重の木ベンチ設置事業	825,000	825,000				825,000		
計			13,054,440	12,307,022	0	10,482,022	1,000,000	825,000	0	0

3. 令和5年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要	備考
流域防災機能強化対策事業	3.54	2,955,700	2,955,000	間伐事業	産業：林業振興費：委託料 ：みえ森と緑の県民税市町交付金事業 業務委託料

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	みえ森と緑の県民税市町交付金においては、森林環境譲与税を財源とした森林施策とすみ分けをおこないながら、町の森林主要施策としての重要財源と位置づけて活用していく。
事業実施により期待される効果	当町が公益性の判断のもと実施する事業においては、特定機能の維持を図るもののほか、生活道路や施設の利用者など多くの人々に影響を及ぼすものが多く、町民のみならず周辺の県民が恩恵を受けている。
情報発信への取組	各種集客イベントの際、県民税のPRをチラシの配布によりおこなっている。登り旗の掲示も行った。その他、町ホームページ、役場庁舎内においてのパフレットの配布など。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2-2の906ページについて、もう少し分かりやすく丁寧に記述をお願いしたい。</li> <li>・色々な事業をされているので多くの町民が受益を受けていることがわかります。広報誌やHPなどにもっと掲載しても良いのではと感じました。</li> </ul>	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	生活環境林整備事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	2.3	C
2	3	森と緑の環境教育事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.3	C
3	4	三重の木ベンチ設置事業	2.7	C	2.7	C	3.0	B	2.3	C